

文部科学省 令和3年度 学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業

”晴れの舞台”で働く体験から学び、「社会生活力」を身につける
生涯学習プログラムを地域連携により拡大促進し、社会参画へとつなげていく実践研究

プログラム実施報告書



令和4年3月10日 NPO法人ピープルデザイン研究所

プログラム実施報告@川崎市

令和3年4月7日 - 令和4年1月5日

< 実施プログラム「就労体験」のメディア露出 >

露出媒体換算額：約2,340万円

露出合計：37メディア

(内訳：新聞 2紙、テレビ 2番組、ラジオ 1番組、WEB 32サイト)

| 日付 | 媒体名 | 種別 | 取組 | 掲載URL |
|--------|---------------------------|-----|---|---|
| 4月13日 | チャンネル7の10時放送 | WEB | クラブ活動や音楽活動に関する情報 | http://www.7channel.com/club/club.html |
| 4月24日 | TBSラジオ「アナンイズ」rad | WEB | 「心のリアンアフレ」もスタディッシュに挑戦する！ 宇野なつ「アナンイズ」2020年12月20日 アナンイズ | http://www.radiko.jp/a_nanizis/ |
| 5月14日 | 日経新聞 | 新聞 | Sports X Conference2021-1 | |
| 5月23日 | 日経チャンネル | WEB | 障害者スポーツ大会「障害者」(「就労体験プロジェクト」) | http://www.nikkei.com/sp/2021/05/23/052304 |
| 5月23日 | Sports X Conference2021-1 | WEB | 障害者スポーツ大会「障害者」(「就労体験プロジェクト」) | http://sportsdata.jp/conference2021/ |
| 6月13日 | NHK新聞 | テレビ | 22年度のホームゲームで観客席に人ぞろい | |
| 6月14日 | I have a dream | WEB | アムレックの来店・問い合わせの受付開始プロジェクト @ NHKニュースアムレック | http://www.ihaveadream.jp/ |
| 6月14日 | 株式会社ワウワウSP | WEB | アムレックの来店・問い合わせの受付開始プロジェクト @ NHKニュースアムレック | http://www.bahon.jp/news/2021/06/14/ |
| 6月14日 | 3チャンネル | WEB | 2020年度 NHK NEWS 22年度のホームゲームで観客席に人ぞろい | http://www.3channel.com/news/3085 |
| 7月5日 | Sports for Social | WEB | ニゴロでも、同業グループ「協賛」プロジェクトの進捗 | http://sportsforsocial.com/jp/09/sportsforsocial/ |
| 7月17日 | I have a dream | WEB | 6.13 アムレックスマイルプロジェクト・問い合わせ受付開始レポート | http://www.ihaveadream.jp/wh/613/ |
| 7月17日 | I have a dream | WEB | 7.11 アムレックスマイルプロジェクト・問い合わせ受付開始レポート | http://www.ihaveadream.jp/wh/711/ |
| 7月17日 | 株式会社ワウワウSP | WEB | 7.11 アムレックスマイルプロジェクト・問い合わせ受付開始レポート | http://www.bahon.jp/news/2021/07/17/ |
| 7月17日 | 地域経営プラットフォームSDG&LIFE | WEB | 7.11 アムレックスマイルプロジェクト・問い合わせ受付開始レポート | http://www.earthplatform.com/news/2021/07/17/ |
| 7月24日 | エクスポートファンディング | WEB | コロナでも、問い合わせの受付開始プロジェクト | http://www.exportfunding.com/ |
| 8月24日 | I have a dream | WEB | 「障害者」の取組に関する記事！ 問い合わせ受付開始プロジェクト | http://www.ihaveadream.jp/wh/824/ |
| 8月24日 | 株式会社ワウワウSP | WEB | 「障害者」の取組に関する記事！ 問い合わせ受付開始プロジェクト | http://www.bahon.jp/news/2021/08/24/ |
| 8月24日 | 地域経営プラットフォームSDG&LIFE | WEB | 「障害者」の取組に関する記事！ 問い合わせ受付開始プロジェクト | http://www.earthplatform.com/news/2021/08/24/ |
| 8月24日 | 株式会社ワウワウSP | WEB | 「障害者」の取組に関する記事！ 問い合わせ受付開始プロジェクト | http://www.bahon.jp/news/2021/08/24/ |
| 9月23日 | FLUIDA MYCLOUD | WEB | 9/18 2021年度支援プロジェクト進捗報告会を開催しました | http://fluida.com/09/20210918/ |
| 10月14日 | SOCIAL TOWN GLO | WEB | 【就労】 社会福祉 障がい者ITスキルアップ研修 | http://www.socialtown.co.jp/ |
| 10月24日 | 株式会社ワウワウSP | WEB | アムレックの来店・問い合わせの受付開始プロジェクト | http://www.bahon.jp/news/2021/10/24/ |
| 11月3日 | 株式会社ワウワウSP | WEB | 障害者支援活動「就労体験」 | http://www.bahon.jp/news/2021/11/03/ |
| 11月8日 | こゆん 株式会社 | WEB | こゆん(株) 10周年記念イベント 開催レポート | http://www.koyun.jp/news/2021/11/08/ |
| 11月19日 | Engage! 日本 | WEB | 障がい者のみなさんへ「エンゲージメント」の取組について「就労体験」に関する記事！ | http://www.engage-japan.com/2021/11/19/ |
| 11月19日 | 時事ドットコム | WEB | アムレック、オンラインショップ「就労体験」の取組に関する記事！ 2021年のオンラインショップ「就労体験」の取組に関する記事！ | http://www.jiji.com/jiji/article/2021/11/19/20211119001 |
| 11月19日 | webニュース | WEB | アムレック、オンラインショップ「就労体験」の取組に関する記事！ 2021年のオンラインショップ「就労体験」の取組に関する記事！ | http://www.webnews.jp/news/2021/11/19/20211119001 |
| 11月19日 | PR TIMES | WEB | アムレック、オンラインショップ「就労体験」の取組に関する記事！ 2021年のオンラインショップ「就労体験」の取組に関する記事！ | http://www.prtimes.jp/news/2021/11/19/20211119001 |
| 11月19日 | Web集英 | WEB | アムレック、オンラインショップ「就労体験」の取組に関する記事！ 2021年のオンラインショップ「就労体験」の取組に関する記事！ | http://www.webshinwa.com/news/2021/11/19/20211119001 |
| 11月24日 | 日経新聞 | WEB | 障害者支援プロジェクト | http://www.nikkei.com/sp/2021/11/24/052404 |
| 12月8日 | 日経ラジオ社「SDG&LIFE」 | WEB | 【12月号】 2021-22年度「SDG&LIFE」の取組に関する記事！ | http://www.nikkei.com/sp/2021/12/08/052804 |
| 12月14日 | 時事ドットコム | WEB | 障がい者のみなさんへ「エンゲージメント」の取組について「就労体験」に関する記事！ | http://www.jiji.com/jiji/article/2021/12/14/20211214001 |
| 12月27日 | 朝野新聞 | 新聞 | 「就労体験」の取組に関する記事！ | http://www.asahi.com/special/2021/12/27/052704 |
| 1月9日 | 中国新聞 | 新聞 | 「就労体験」の取組に関する記事！ | |
| 1月9日 | 中国経済チャンネル | ラジオ | 「就労体験」の取組に関する記事！ | http://www.chinajournal.com/news/2021/01/09/20210109001 |
| 1月19日 | www「就労体験」の取組に関する記事！ | WEB | 「就労体験」の取組に関する記事！ | http://www.ihaveadream.jp/wh/119/ |
| 1月24日 | NHK「就労体験」の取組に関する記事！ | TV | 「就労体験」の取組に関する記事！ | http://www.nhk.jp/program/2021/01/24/052404 |



5/25 Sports X Conference2020+1



7/28 エネルギーファンディング公式HP



9/25 藤枝MYFC公式HP



1/17 voicy 「音で読めるファッション雑誌」



12/8 川崎ブレイブサンダース公式HP



3/5 NHK 「スポデカラ！」

<SNSでの告知>

facebookを活用し、活動毎に御社ロゴの入ったバナーを掲示して投稿。総投稿数 **32**、総閲覧数 **約 3万ビュー** となった。

ピープルデザイン研究所/ people design institute
2021年6月8日

早くも夏のように暑い本日。川崎フレイブサンダースの今シーズン締めくくりとなる「ファン感謝デー」にて就労体験を実施しました！
市内の精神障害の方、支援員さん、統括スタッフの延べ7名が参加。全場内口ビーや選手ロッカールーム・控室などの消毒作業、コートでのモップかけ。.. もっと見る



ピープルデザイン研究所/ people design institute
2021年6月12日

障害者の方々の就労体験プロジェクトは、川崎市での取り組みをモデルに、今年度から地方での展開を加速させていきます。
今日は東北地方、宮城県仙台市にて就労体験を実施！ダイバーシティをテーマにしたクラシックコンサートイベントにて、市内の就労移行支援事業所、LITA、もっと見る



ピープルデザイン研究所/ people design institute
2021年10月16日

さらに本日は就労体験も開催！「自費研フェスティバル2021」@五反田TOCにて就労体験を行いました。館内でも、五反田(品川区)では初開催です。
弊社理事で、NPO法人アクセッションズの理事長である古市さんコーディネートのもと、ダウン症のある方々、統括スタッフ。.. もっと見る



ピープルデザイン研究所/ people design institute
2021年10月2日

台風一過の等々力競技場にて、川崎フロンターレの就労体験を開催中！川崎市内の障害を持つ方、自律を目指す方、支援員さん、臨時雇用スタッフなど総勢5名が、ゲームスタッフの一員として、スタンドの消毒清掃作業に取り組んでいます！
#frontale #フロンターレ #.. もっと見る



ピープルデザイン研究所/ people design institute
2021年11月3日

🏆リーグ川崎フロンターレ優勝🏆
ホーム等々力で2年連続4度目のリーグ優勝を決めた川崎フロンターレ。もちろん本日も就労体験を実施しておりました！.. もっと見る



ピープルデザイン研究所/ people design institute
2021年11月7日

昨日に続き、本日も川崎市とどろきアリーナにて川崎フレイブサンダースの就労体験を実施しました！川崎市内の自立を目指す方と支援スタッフの皆さんの合計5名が、ゲームスタッフの一員として、アリーナの消毒・清掃を実施しました！
#川崎フレイブサンダース



ピープルデザイン研究所/ people design institute
2021年10月29日

異やかな秋晴れのもと、本日より、川崎フレイブサンダース就労体験も再開です！市内の精神障害の方、支援員さん、統括スタッフの延べ5名で、座席や会場内口ビー、選手ロッカールーム・控室などの消毒作業を行いました。久々の就労体験ということで、楽しそうに、テキパキと丁寧に.. もっと見る



ピープルデザイン研究所/ people design institute
2021年12月1日

昨夜の雷雨が曜のように晴れた今朝の川崎！
本日も川崎市とどろきアリーナにて川崎フレイブサンダースの就労体験を実施しました！.. もっと見る



ピープルデザイン研究所/ people design institute
2021年12月24日

メリークリスマスイブ川崎市！
本日も川崎市とどろきアリーナにて川崎フレイブサンダースの就労体験を実施しました！本日はテレビの取材も入り少し緊張！.. もっと見る



ピープルデザイン研究所/ people design institute
1月5日

新年、明けましておめでとうございます。皆様にとって更なる飛躍の年になりますように！
今年も引き続き、NPO法人ピープルデザ.. もっと見る



実施期間 : **令和3年4月7日 - 令和4年1月5日**

(事業対象期間は6月9日から)

実施自治体 : **川崎市**

実施企画数 : **33企画** (事業対象企画数は20企画)

※ 緊急事態宣言、蔓延防止等措置発令により33企画を中止とした
(事業対象中止企画数は27企画)

就労体験参加人数 : **109名** (事業対象参加人数は63名)

参加事業所 : **22事業所**

内訳

株式会社LITALICO 就労移行支援事業所LITALICOワークス川崎駅前南
 株式会社LITALICO 就労移行支援事業所LITALICOワークス川崎
 社会福祉法人川崎聖風福祉会 社会復帰訓練所 移行支援事業所あやめ
 社会福祉法人電機神奈川福祉センター 中部就労援助センター
 社会福祉法人県央福祉会 川崎市百合丘就労援助センター
 川崎市精神保健福祉センター
 株式会社アストコブライトむさし小杉
 社会福祉法人育桜福祉会 わーくす高津
 株式会社Cocorport Cocorport武蔵小杉office
 社会福祉法人 青い鳥 川崎南部就労援助センター
 社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団 川崎市ふじみ園
 株式会社チャレンジドジャパン川崎センター
 株式会社manaby 川崎事業所
 川崎市麻生区役所地域まもり支援センター高齢・障害課 精神保健係
 川崎市ひきこもり地域支援センター就労支援担当
 川崎若者就労・生活自立支援センター プリュック
 川崎市生活自立・仕事相談センターだいJOBセンター
 特定非営利活動法人マイWayたかつ
 社会福祉法人三篠会 川崎ラクシル 南部日中活動センター
 社会福祉法人ともかわさき・地域相談支援センタードルチェ
 公益財団法人神奈川県社会復帰支援会 就労移行支援センターかわさき@Job
 川崎市高津区役所地域まもり支援センター (福祉事務所・保健支所) 保護課

参加企業 : **3社**

内訳

株式会社川崎フロンターレ (Jリーグ川崎フロンターレ)
 株式会社DeNA川崎ブレイブサンダース (Bリーグ川崎ブレイブサンダース)
 農業生産法人 株式会社カルナエスト

見学者 : **15名**

参加ボランティア : **15名**

| | 日付 | タイトル | 就労体験者 |
|------------------------|--------|-----------------|------------|
| 1 | 4月7日 | 川崎フロンターレ就労体験 | 7 |
| 2 | 4月10日 | 川崎ブレイブサンダース就労体験 | 1 |
| 3 | 4月14日 | 川崎フロンターレ就労体験 | 4 |
| 4 | 4月28日 | 川崎ブレイブサンダース就労体験 | 6 |
| 5 | 5月1日 | 川崎ブレイブサンダース就労体験 | 7 |
| 6 | 5月4日 | 川崎フロンターレ就労体験 | 2 |
| 7 | 5月12日 | 川崎フロンターレ就労体験 | 12 |
| 8 | 5月16日 | 川崎フロンターレ就労体験 | 1 |
| 9 | 5月22日 | 川崎フロンターレ就労体験 | 4 |
| 10 | 5月30日 | 川崎フロンターレ就労体験 | 1 |
| 11 | 6月5日 | 川崎ブレイブサンダース就労体験 | 1 |
| 12 | 7月2日 | カルナエスト就労体験 | 2 |
| 13 | 10月2日 | 川崎フロンターレ就労体験 | 2 |
| 14 | 10月22日 | カルナエスト就労体験 | 2 |
| 15 | 10月23日 | 川崎ブレイブサンダース就労体験 | 2 |
| 16 | 10月24日 | 川崎ブレイブサンダース就労体験 | 3 |
| 17 | 10月24日 | 川崎フロンターレ就労体験 | 1 |
| 18 | 10月29日 | カルナエスト就労体験 | 2 |
| 19 | 11月3日 | 川崎フロンターレ就労体験 | 2 |
| 20 | 11月5日 | 川崎ブレイブサンダース就労体験 | 2 |
| 21 | 11月7日 | 川崎ブレイブサンダース就労体験 | 1 |
| 22 | 11月9日 | 川崎ブレイブサンダース就労体験 | 4 |
| 23 | 11月10日 | 川崎ブレイブサンダース就労体験 | 3 |
| 24 | 11月11日 | 川崎フロンターレ就労体験 | 6 |
| 25 | 11月27日 | 川崎フロンターレ就労体験 | 4 |
| 26 | 12月1日 | 川崎ブレイブサンダース就労体験 | 5 |
| 27 | 12月5日 | 川崎フロンターレ就労体験 | 2 |
| 28 | 12月15日 | 川崎ブレイブサンダース就労体験 | 5 |
| 29 | 12月24日 | 川崎ブレイブサンダース就労体験 | 6 |
| 30 | 12月25日 | 川崎ブレイブサンダース就労体験 | 2 |
| 31 | 1月5日 | 川崎ブレイブサンダース就労体験 | 7 |
| 2021年度就労体験 合計人数 | | | 109 |

4月7日、14日 川崎フロンターレ就労体験

Jリーグの川崎フロンターレ様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。川崎市をホームタウンとする川崎フロンターレの等々力陸上競技場でのホームゲームにて、4月7日、14日に実施。市内の精神・知的障害者、ひきこもり、ホームレスの方々が述べ15人（利用者：11人、施設職員：3人、見学者：1人）参加した。開場前に、スタジアム内の手すりの消毒、座席拭きを行った。

実施日：2021年4月7日(水)、14日(水)

会場：等々力陸上競技場

参加人数：15人（利用者：11人、施設職員：3人、見学者：1人）

参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：0人

支給物：交通費（1,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社川崎フロンターレ

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：3事業所

（社会福祉法人育桜福祉会 わーくす高津、

社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 川崎市ふじみ園）

会場来場者数：16,131人

（4/7 9,173人、4/14 6,958人）

参加者感想

- ・1人で帰ることができた。（30代男性／知的障害者）
- ・回数を重ねるごとにできる仕事の種類が増えた。（20代伝声／知的障害者）
- ・挨拶をしっかりすることを学んだ。怪我をしないように足元に気をつけるようになった。楽しめた。（30代男性／知的障害者）
- ・自分から進んで拭いた。自分から挨拶するようになった。（30代男性／知的障害者）
- ・挨拶されて、挨拶したことが楽しかった。椅子、机など消毒して楽しかった。楽しみながら仕事できたことが嬉しかった。（40代女性／身体、知的障害者）
- ・いい体験になった。（30代男性／知的障害者）
- ・自立した行動（作事中、移動中）を促すことに繋がった。（30代男性／施設職員）
- ・外部で仕事ということでコミュニケーションを普段とは違う方と取ることができました。（30代男性／施設職員）



4月10日、28日 川崎ブレイブサンダース就労体験

Bリーグ男子バスケットボールチーム「川崎ブレイブサンダース」のホームゲームにて、4月10日、28日に、バスケットボールファンをもてなす「就労体験」を実施。今回は同市内精神・知的障害者、引きこもり、ホームレスの方々、述べ13人（利用者：7人、施設職員：4人、見学者：2人）が参加し、競技場内にて、プログラムや応援グッズ配布、会場設営、清掃のお仕事を担って頂いた。

実施日：2021年4月10日(土)、28日(日)
会場：川崎市とどろきアリーナ

参加人数：13人（利用者：7人、施設職員：4人、見学者：2人）
参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方
ボランティアスタッフの人数：3人
支給物：交通費（1,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社DeNA（川崎ブレイブサンダース）

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：6事業所

（社会福祉法人電機神奈川福祉センター 中部就労援助センター、
社会福祉法人川崎聖風福祉会 社会復帰訓練所 移行支援事業所あやめ、
公益財団法人神奈川県社会復帰支援センター 就労移行支援センターかわさき@Job、
川崎若者就労・生活自立支援センター プリュッケ、
社会福祉法人育桜福祉会 わーくす高津、
就労移行支援事業所LITALICOワークス川崎駅前南）

会場来場者数：4,681人（4/10 2,359人、4/28 2,322人）

参加者感想

- ・教えられたことを活かしたい。対応できるようになってきたと感じた。次の経験を積みたい。（50代男性/知的障害者）
- ・自分から挨拶や話を聞くことを学んだ。自分で時間を守ろうとすることに気づいた。どんな仕事か待っているか、どんどん挑戦したいと思った。（20代男性/知的障害者）
- ・コロコロで玄関をきれいにし、皆が入口から入場する際に、きれいな玄関で良いなと思うところ。（60代男性/知的障害者）
- ・日頃、清掃活動へ参加しているため、椅子の拭き方も勉強になった。（50代女性/知的障害者）
- ・指示通りに動けるか、臨機応変に動けるか、初めて会った人と協力して働けるかというアセスメントを取ることができる。就労のイメージ作りに助かっている。（30代女性/施設職員）
- ・様々な人との関りを学べる。与えられた仕事に積極的に挑戦していた。B1の方だけがちょうちよ結びがキレイにできていた。（40代女性/施設職員）
- ・外での仕事を経験として少なかったので、良い経験になった。（30代男性/施設職員）
- ・ルーティン化されている仕事とは違い、仕事の説明を聞く、確認、相談、報告を取りながら就労体験することができていた。今後も様々な就労体験の機会を提供してほしい。（30代女性/施設職員）



5月4日、12日、16日、22日、30日 川崎フロンターレ就労体験

Jリーグの川崎フロンターレ様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。川崎市をホームタウンとする川崎フロンターレの等々力陸上競技場でのホームゲームにて、5月4日、12日、16日、22日、30日に実施。市内の精神・知的障害者、ひきこもり、ホームレスの方々が述べ34人（利用者：20人、施設職員：11人、見学者：3人）参加した。開場前に、スタジアム内の手すりの消毒、座席拭きを行った。

実施日：2021年5月4日(火)、12日(水)、16日(日)、22日(土)、30日(日)
会場：等々力陸上競技場

参加人数：34人（利用者：20人、施設職員：11人、見学者：3人）
参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方
ボランティアスタッフの人数：3人
支給物：交通費（1,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社川崎フロンターレ

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：12事業所

（株式会社アストコ プライムむさし小杉、社会福祉法人育桜福祉会 わーくす高津、川崎若者就労・生活自立支援センター ブリュック、社会福祉法人 青い鳥 川崎南部就労援助センター、株式会社LITALICO 就労移行支援事業所LITALICOワークス川崎、株式会社LITALICO 就労移行支援事業所LITALICOワークス川崎駅前南、社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団 川崎市ふじみ園、川崎市ひきこもり地域支援センター就労支援担当、社会福祉法人電機神奈川福祉センター 中部就労援助センター、川崎市生活自立・仕事相談センターだいJOBセンター、川崎市高津区役所地域まもり支援センター（福祉事務所・保健支所）保護課）

会場来場者数：24,538人

（5/4 4,954人、5/12 4,752人、5/16 4,932人、5/22 4,942人、5/30 4,958人）



参加者感想

- ・地道な作業を行うときの集中力の長さが分かった。(30代女性/精神障害者)
- ・たくさんのスタッフの方に支えられて試合が成り立っていることが分かり勉強になった。
屋外の作業だったが、疲れを感じることはあまりなく、スムーズに作業できた。(20代男性/精神障害者)
- ・自分に合っている仕事のスタイルがよく分かった。もっと清掃作業したかった。(10代男性/知的障害者)
- ・チーム4名で一丸となって、協力し合って作業を分担することができた。一人ではできなかったと感じた。
以前は対人恐怖症だったが、今はほとんど良くなり、初対面の方とも会話ができるようになってきていることに改めて気づかされた。普段入ることのできない競技場やファミリー席に入ることができて、いい思い出になった。
(40代女性/精神障害者)
- ・自分が動いたことで役に立っているのはやっぱり嬉しい。(30代女性/精神、発達障害者)
- ・丁寧な仕事をすることを学んだ。(30代男性/精神障害者)
- ・就労体験に参加したことを今後につなげたいと思った。今までの人生を大切に、前向きに働くことができると思った。(50代男性/知的障害者)
- ・社会ではたくさんの人が協力して成り立っているということを学んだ。少しずつ自分のやりたいことや未来が見えてくるようになった。(20代男性/ひきこもりの方)
- ・外で働くことの気持ちよさ、働くことの楽しさを思い出し、就活に積極的に取り組みたい。
(50代男性/精神障害者)
- ・広い場所での作業でどのくらい疲れるのか、自分に出来ることなのかを考えるきっかけとなった。
職種についてももっと視野を広げて考えてもいいかと思うようになった。(20代男性/精神障害者)
- ・言いたいことがあるなら言うことが大切だと気づいた。体力面が強くなった。(20代男性/知的障害者)
- ・どういう拭き方をすればいいのか考えるようになった。慌てないように動くように考えるようになった。
(40代女性/身体、知的障害者)
- ・あまり食事をしなかったせいかわかるとも疲れたため、食事をすることの大切さを学んだ。
(40代女性/知的障害者)
- ・初対面の方とコミュニケーションを取る機会になったこと。周囲と協力して作業する機会となった。
それぞれの利用者様にとって学びの多い実習になった。(30代男性/施設職員)
- ・これまでは当日単独参加が多かったようであったが、今回は他の組織からの参加者もいたため、新鮮だったのではないかと感じた。(30代女性/施設職員)
- ・世の中のリアルな活動に接することで、自分も社会の一員になれるかもと感じるチャンスをもたらえること。
(50代男性/施設職員)
- ・体を動かす仕事が自分にも合っていると感じる機会になったところ。時間を守って参加し、体験をやり遂げることで自己肯定感が高まったところ。楽しんで参加することができ、有意義な時間を過ごせた。
(50代女性/施設職員)
- ・苦手な事にも積極的に取り組む様子が見られた。(30代男性/施設職員)



5月1日

川崎ブレイブサンダース就労体験

Bリーグ男子バスケットボールチーム「川崎ブレイブサンダース」のホームゲームにて、5月1日に、バスケットボールファンをもてなす「就労体験」を実施。今回は同市内精神・知的障害者、引きこもり、ホームレスの方々、述べ12人（利用者：7人、施設職員：5人）が参加し、競技場内にて、プログラムや応援グッズ配布、会場設営、清掃のお仕事を担って頂いた。

実施日：2021年5月1日(土)

会場：川崎市とどろきアリーナ

参加人数：12人（利用者：7人、施設職員：5人）

参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：0人

支給物：交通費（1,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社DeNA（川崎ブレイブサンダース）

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：3事業所

（社会福祉法人川崎聖風福祉会 社会復帰訓練所 移行支援事業所あやめ、
社会福祉法人県央福祉会 川崎市百合丘就労援助センター、
川崎若者就労・生活自立支援センター ブリュック）

会場来場者数：2,426人

参加者感想

- ・ 仕事場の雰囲気が味わえた。（50代女性／精神障害者）
- ・ 掃除の技術と作業時間を知った。仕事の状況が分かった。（20代男性／知的障害者）
- ・ 人とのコミュニケーションや困ったことを放置せず、周りの人にすぐに相談をする大切さを学ぶことができた。また、できるだけミスをせず、丁寧に任せられた仕事を行うことの大切さも学ぶことができた。今回の実習で最初は椅子などの消毒を丁寧に行うことができて体の疲れが出てくると作業が雑になってくるので、疲れが出てくる前に休憩などを取ることで体を休ませることも仕事を行う上で大事だと気づきになった。（20代女性／知的障害者）
- ・ ほぼ初対面の15人位でチームを組んでもサクッと終わったことに驚いた。受け入れ側の方が優しく、喜んでくれたことが嬉しかった。（40代女性／身体、精神障害者）
- ・ 掃除機を引いた時の方がゴミを吸引することを学んだ。（20代男性／知的障害者）
- ・ 回数を重ねれば速さや丁寧さなども意識してできるようになってきた。同じ作業でも最初のときと3回目までだいぶ思うことが変わった。（20代男性／知的障害者）
- ・ 相談だけにとどまらず実際に体を動かして働いてみることで、具体的に仕事をするイメージを持ちやすくなると思う。（40代女性／施設職員）
- ・ 他の利用者さんや支援者と一緒に作業することで他人との共同作業の意味を体験してもらえ。（50代女性／施設職員）
- ・ 少しでも仕事をして収入を得たい欲が出てきた。（30代男性／施設職員）
- ・ 前もって伝えたこと以外のことを言われると多少混乱することもあるが、事前に「色々なお仕事をすると伝えてあったため、すんなり受け入れることができていた。（50代女性／施設職員）



6月5日

川崎ブレイブサンダース就労体験

Bリーグ男子バスケットボールチーム「川崎ブレイブサンダース」のファン感謝祭にて、6月5日に、バスケットボールファンをもてなす「就労体験」を実施。今回は同市内精神・知的障害者、引きこもり、ホームレスの方々、述べ2人（利用者：1人、施設職員：1人）が参加し、競技場内にて、プログラムや応援グッズ配布、会場設営、清掃のお仕事を担って頂いた。

実施日：2021年6月5日(土)

会場：川崎市とどろきアリーナ

参加人数：2人（利用者：1人、施設職員：1人）

参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：0人

支給物：交通費（1,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社DeNA（川崎ブレイブサンダース）

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：1事業所

（川崎市生活自立・仕事相談センターだいJOBセンター）

会場来場者数：1,426人

参加者感想

アンケート回答なし



7月2日 カルナエスト就労体験

和光大学地域連携研究センター様と企業応援センターかわさき様の連携による川崎市就労体験教育モデル事業として「就労体験」を実施。
農業生産法人 株式会社カルナエスト様のリリースイベントのお手伝いとして、株式会社カルナエストにて、7月2日に実施。市内の精神・知的障害者の方々が述べ3人（利用者：2人、施設職員：1人）が参加し、ビールのラベルを切るお仕事などを行った。

実施日：2021年7月2日(金)

会場：株式会社カルナエスト 蔵内2階

参加人数：3人（利用者：2人、施設職員：1人）

参加者属性：精神・知的障害者の方々

ボランティアスタッフの人数：0人

支給物：交通費（1,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：農業生産法人 株式会社カルナエスト

運営団体：和光大学地域連携研究センター、企業応援センターかわさき

参加事業所：1事業所

（社会福祉法人県央福祉会 川崎市百合丘就労援助センター）

参加者感想

- ・ラベル切り作業について、初めカッターできる作業が難しかったですが、学生の皆さまが優しく教えてくださり、大変楽しかった。



10月2日、24日 川崎フロンターレ就労体験

Jリーグの川崎フロンターレ様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。川崎市をホームタウンとする川崎フロンターレの等々力陸上競技場でのホームゲームにて、10月2日、24日に実施。市内の精神・知的障害者、ひきこもり、ホームレスの方々が述べ6人（利用者：3人、施設職員：3人）参加した。開場前に、スタジアム内の手すりの消毒、座席拭きを行った。

実施日：2021年10月2日(土)、24日(土)

会場：等々力陸上競技場

参加人数：6人（利用者：3人、施設職員：3人）

参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：1人

支給物：交通費（1,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社川崎フロンターレ

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：2事業所

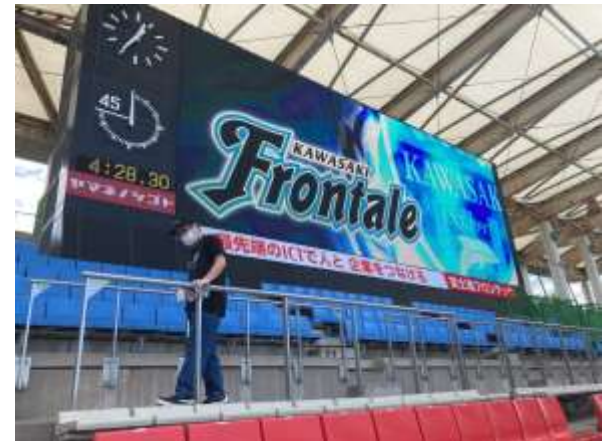
（川崎市ひきこもり地域支援センター就労支援担当、
社会福祉法人電機神奈川福祉センター 中部就労援助センター）

会場来場者数：21,365人

（10/2 9,789人、10/24 11,576人）

参加者感想

- ・ 早めに自立したいと思って参加した。あいさつの大切さを学んだ。（20代/ひきこもりの方）
- ・ 詰めすぎない、程よい力でやるのが大切だと思った。
- ・ これからは体力配分を考えようと思った。（20代/精神障害者）
- ・ 清掃に限らず、色々な仕事ができることは良い経験になった。（20代女性/施設職員）
- ・ 具体的に社会と接し、日常出会わない人にあたり、その人たちから支持をもらったり、報酬も得たりすることで、社会を単発で垣間見られる学びになったと思う。（40代女性/施設職員）
- ・ 今の自分の体力（心と体）を知るきっかけになったと思う。（30代男性/施設職員）



10月22日、29日 カルナエスト就労体験

和光大学地域連携研究センター様と企業応援センターかわさき様の連携による川崎市就労体験教育モデル事業として「就労体験」を実施。

農業生産法人 株式会社カルナエスト様のリリースイベントのお手伝いとして、株式会社カルナエストにて、10月22日、29日に実施。市内の精神・知的障害者の方々が述べ6人（利用者：4人、施設職員：2人）が参加し、ビールのラベル切り、サツマイモの収穫作業などのお仕事を行った。

実施日：2021年10月22日(金)、29日(金)

会場：株式会社カルナエスト 蔵内2階

参加人数：6人（利用者：4人、施設職員：2人）

参加者属性：精神・知的障害者の方々

ボランティアスタッフの人数：0人

支給物：交通費（1,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：農業生産法人 株式会社カルナエスト

運営団体：和光大学地域連携研究センター、企業応援センターかわさき

参加事業所：2事業所

（社会福祉法人県央福祉会 川崎市百合丘就労援助センター）

参加者感想

- ・芋ほり作業について、子供のころ以来でしたが学生の方より親切に教えてもらい楽しかった。もう少し時間が長いと良かった。



10月23日、24日 川崎ブレイブサンダース就労体験

Bリーグ男子バスケットボールチーム「川崎ブレイブサンダース」のホームゲームにて、10月23日、24日に、バスケットボールファンをもてなす「就労体験」を実施。

今回は同市内精神・知的障害者の方々、引きこもりのの方々、ホームレスの方々の述べ8人（利用者：5人、施設職員：3人）が参加し、競技場内にて、手すりや座席の消毒、会場内の清掃、プログラムや応援グッズの配布準備、会場設営のお仕事などを担って頂いた。

実施日：2021年10月23日(土)、24日(日)
会場：川崎市とどろきアリーナ

参加人数：8人（利用者：5人、施設職員：3人）
参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方
ボランティアスタッフの人数：0人
支給物：交通費（1,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社DeNA（川崎ブレイブサンダース）

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：2事業所

（川崎市ひきこもり地域支援センター就労支援担当、
社会福祉法人県央福祉会 川崎市百合丘就労援助センター）

会場来場者数：4,752人
（10/23 2,392人、10/24 2,360人）

参加者感想

- ・ある程度、失敗しても何とかなるんだと感じた。体験を通して、やりたいことやなりたい自分が見えてきた。（20代/ひきこもりの方）
- ・社会と接する必要性を学んだ。就労体験後、体調管理に気をつけるようになった。就労体験は社会に出るために最低限必要なことを学べると思う。（30代/ひきこもりの方）
- ・与えられた仕事を一生懸命することを学んだ。就労への意識が高まった。楽しかった。（30代/精神障害者）
- ・仕事の雰囲気慣れるのに大変だったので、早く慣れるようにしたいと思った。（40代/知的障害者）
- ・久しぶりの就労体験だったが、慣れた様子で作業できており、自信になったのではないかと考える。当センターにおいて、就労体験への参加を希望する人も増えてきており、1回あたりの参加人数制限が緩和されればと思う。（40代女性/施設職員）
- ・作業能力と指示理解。体力のコントロールを学べる場だと感じた。（30代男性/施設職員）
- ・他の人と一緒に作業する経験ができる。（30代男性/施設職員）



11月3日、11日、27日 川崎フロンターレ就労体験

Jリーグの川崎フロンターレ様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。川崎市をホームタウンとする川崎フロンターレの等々力陸上競技場でのホームゲームにて、11月3日、11日、27日に実施。市内の精神・知的障害者、ひきこもりの方々が述べ21人（利用者：12人、施設職員：7人、見学者：2人）参加した。開場前に、スタジアム内の手すりの消毒、座席拭き、アッセンブリ作業を行った。

実施日：2021年11月3日(水)、11日(木)、27日(土)

会場：等々力陸上競技場

参加人数：21人（利用者：12人、施設職員：7人、見学者：2人）

参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：6人

支給物：交通費（1,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社川崎フロンターレ

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：6事業所

（川崎市ひきこもり地域支援センター就労支援担当、
社会福祉法人県央福祉会 川崎市百合丘就労援助センター、
社会福祉法人育桜福祉会 わーくす高津、
社会福祉法人川崎聖風福祉会 社会復帰訓練所 移行支援事業所あやめ、
社会福祉法人電機神奈川福祉センター 中部就労援助センター、
社会福祉法人三篠会 川崎ラクシル 南部日中活動センター）

会場来場者数：26,470人

（11/3 11,603人、11/27 14,867人

※11/11は川崎フロンターレ事務所で実施のため来場者なし）



参加者感想

- ・前回参加して楽しかったので、また参加した。簡単な作業でも人のためになってるようになった。早寝早起きができるようになった。(20代/ひきこもりの方)
- ・あいさつや他人とのコミュニケーションの大切さを学んだ。久しぶりに働けてよかった。一日無事に終わることができてよかった。(30代/ひきこもりの方)
- ・頑張ることを学んだ。仕事に力を入れるようになった。就職への一歩になった。(20代/知的障害者)
- ・力を合わせて仕事することを学んだ。コミュニケーションを大切にしようと思った。(50代/精神障害者)
- ・時間の過ごし方が勉強になった。仕事を楽しくできると気づいた。(40代/発達障害者)
- ・楽しく働くことを学んだ。流れ作業などが得意な作業だということに気づいた。(20代/発達障害者)
- ・前回参加させていただいて非常にやりがいがあったので参加した。(40代/精神障害者)
- ・サッカーがより好きになった。より仕事に興味が出た。(30代/精神・発達障害者)
- ・1つの試合を開催するのにたくさんの人の力が必要なのだと思い、この体験の中で、自分もその一員になれて嬉しい。働くことは楽しいと思った。短い時間や内容もあるけれど、とにかく労働の意味をよく考えるようになった。様々な経験を重ねていくことは大切だと思った。(30代/精神障害者)
- ・今までやってみたい仕事をしたかったと思い参加した。時間を守ることを意識するようになった。どんな仕事でも積極的に、集中を学んだ。(20代/知的障害者)
- ・別の作業も色々やりたい。(20代/身体・知的障害者)
- ・就労経験はあるが、1人で公共交通機関に乗ったことがほとんどないため、今後の通勤を見据えての練習のため参加した。他人と声をかけあって仕事をする事の大切さ。(40代女性/施設職員)
- ・仕事をする充実感を体験することができたと思う。(30代男性/施設職員)
- ・参加したことで就労に対して自信が持て、前向きに検討する様子が見られるようになった。ご本人が体験終了後に「参加してよかったです」と明るい声で話されていた。とても良い体験になった様子だった。(50代男性/施設職員)
- ・他者と協力して作業に取り組むことが学べると感じた。(40代女性/施設職員)
- ・自ら進んで作業をすることができていた。(50代女性/施設職員)
- ・事務作業は事業所内で行っているが、参加者がどれだけ、どのくらい作業として意識できるのか確認をしたかったから参加した。1人は事業所内で細かい事務作業をしていた効果を発揮し、終始集中して取り組んでいた。もう1人は手順通りに行うことを課題として、今後に活かしていきたい。協力して仕事をしていくことの楽しさを感じたと思う。(20代女性/施設職員)



11月5日、7日、9日、10日 川崎ブレイブサンダース就労体験

Bリーグ男子バスケットボールチーム「川崎ブレイブサンダース」のホームゲームにて、11月5日、7日、9日、10日に、バスケットボールファンをもてなす「就労体験」を実施。

今回は同市内精神・知的障害者、引きこもり、ホームレスの方々、述べ22人（利用者：10人、施設職員：5人、見学者：7人）が参加し、競技場内にて、プログラムや応援グッズ配布、会場設営、清掃のお仕事を担って頂いた。

実施日：2021年11月5日(金)、7日(日)、9日(火)、10日(水)

会場：川崎市とどろきアリーナ

参加人数：22人（利用者：10人、施設職員：5人、見学者：7人）

参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：0人

支給物：交通費（1,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社DeNA（川崎ブレイブサンダース）

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：6事業所

（株式会社Cocorport Cocorport武蔵小杉office、
株式会社チャレンジドジャパン川崎センター、
社会福祉法人育桜福祉会 わーくす高津、特定非営利活動法人マイWayたかつ、
社会福祉法人川崎聖福福祉会 社会復帰訓練所 移行支援事業所あやめ）

会場来場者数：4,690人

（11/7 2,324人、11/10 2,366人 ※11/5と11/9は前日準備のため来場者なし）

参加者感想

- ・暗いところもゆっくりだったらできると思った。アリーナの中の階段もゆっくりなら降りることができてこれからも頑張れそう。またやりたいと思う。（30代/知的障害者）
- ・ものすごく頑張った。（40代/身体・知的障害者）
- ・楽しかった。（40代/知的障害者）
- ・いつもとは違う環境での仕事のため、良い経験を積むことができた。（30代男性/施設職員）
- ・普段とは違う人たちとコミュニケーションを取れるいい経験ができた。（30代男性/施設職員）



12月5日 川崎フロンターレ就労体験

Jリーグの川崎フロンターレ様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。川崎市をホームタウンとする川崎フロンターレの等々力陸上競技場でのJ1優勝報告会にて、12月5日に実施。市内の精神・知的障害者、ひきこもりの方々が述べ3人（利用者：2人、施設職員：1人）参加した。開場前に、パンフレットのアッセンブリ作業を行った。

実施日：2021年12月5日(日)
会場：等々力陸上競技場

参加人数：3人（利用者：2人、施設職員：1人）
参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方
ボランティアスタッフの人数：0人
支給物：交通費（1,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社川崎フロンターレ
運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所
参加事業所：1事業所
（社会福祉法人川崎聖風福祉会 社会復帰訓練所 移行支援事業所あやめ）

会場来場者数：約5,000人

参加者感想

- ・接客はなかったが、接客する前準備も必要な事が分かった。（50代/精神障害者）
- ・1人前になりたいと思って参加した。仕事の辛さと達成感。サポートのありがたさ。話すことの大切さ。生きること。働く楽しさ。仕事はきつかったが、チームでやることの大切さがわかった。（40代/精神・高次脳機能障害者）
- ・事業所内の作業ではなく、外の作業を経験し、自信をつくようにしてほしいと参加した。周りとのコミュニケーションの取り方。助け合いながら作業をできていたことがよかった。（50代女性/施設職員）



12月1日、15日、24日、25日 川崎ブレイブサンダース就労体験

Bリーグ男子バスケットボールチーム「川崎ブレイブサンダース」のホームゲームにて、12月1日、15日、24日、25日に、バスケットボールファンをもてなす「就労体験」を実施。

今回は同市内精神・知的障害者、引きこもり、ホームレスの方々、述べ26人（利用者：18人、施設職員：8人）が参加し、競技場内にて、手すりや座席の消毒、会場内の清掃、プログラムや応援グッズの配布準備、会場設営のお仕事などを担って頂いた。

実施日：2021年12月1日(水)、15日(水)、24日(金)、25日(土)
会場：川崎市とどろきアリーナ

参加人数：26人（利用者：18人、施設職員：8人）
参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、ひきこもりの方
ボランティアスタッフの人数：0人
支給物：交通費（1,000円/人）、昼食（お弁当、飲み物）
<関連団体>

業務依頼企業：株式会社DeNA（川崎ブレイブサンダース）

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：7事業所

（社会福祉法人育桜福祉会 わーくす高津、
社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団 川崎市ふじみ園、
社会福祉法人三篠会 川崎ラクシル 南部日中活動センター
社会福祉法人電機神奈川福祉センター 中部就労援助センター
川崎市ひきこもり地域支援センター就労支援担当）

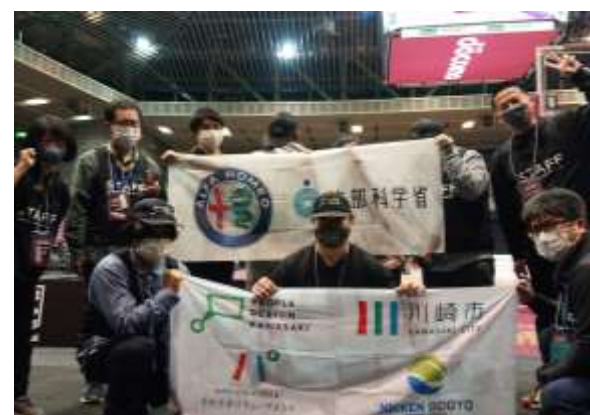
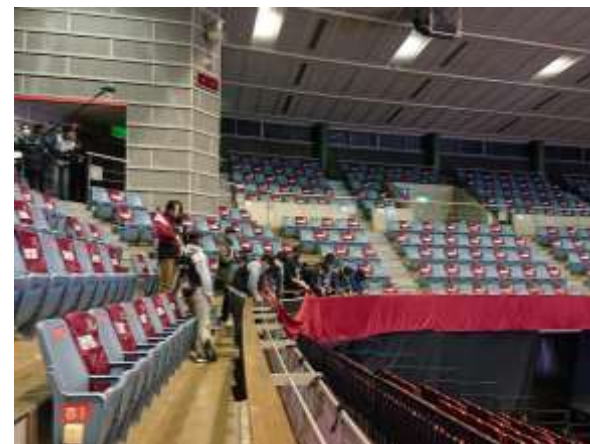
会場来場者数：約8,700人

（12/1 約2,000人、12/15 2,221人、12/24 2,024人、12/25 2,419人）



参加者感想

- ・外出の必要性を学んだ。社会に出るうえでコミュニケーションは必要だと感じる。継続的に参加するうちに前よりはコミュニケーションを取れるようになった。(30代/ひきこもりの方)
- ・社会に参加することを学んだ。少しずつ社会になんできたように思う。(30代/精神・発達障害者)
- ・仕事が楽しかった。(40代/身体・知的障害者)
- ・初めてテレビに映ることに喜んだ。(20代/知的障害者)
- ・最後まで頑張った。また頑張りたい。(40代/知的障害者)
- ・身だしなみに気がつけた。最後まで頑張れたことがよかった。(50代/知的障害者)
- ・暗いところもゆっくり歩けると思った。人のかかわり方、苦手な人のコミュニケーションがわかるようになってきた。またやりたい。(30代/知的障害者)
- ・就職したいと思い参加した。積極的に自分から報告ができたことが勉強になった。積極的に黙々と頑張りがすぎたことが気づいた。どんどん社会に出て認められたい。(20代/知的障害者)
- ・張り切ってやった。良い経験になった。(30代/知的障害者)
- ・カードをフィルムから取り出すとき厚紙を使う工夫がよかった。自信を持てた。(50代/知的障害者)
- ・真剣に集中できたことが勉強になった。認められて自分の中では頑張ったつもり。(20代/知的障害者)
- ・他体験者への接し方や、自身への障害を受け入れるきっかけになればと思った。(20代男性/施設職員)
- ・施設内での作業より作業ペースが速くなった利用者の方がいた。他事業所の利用者の方々も参加されており、刺激を受けたか。(30代女性/施設職員)
- ・噴霧器を2名の利用者で交互に使って作業したりする中で、他者と協力して作業することの難しさを多少感じたりもあつたのではないかとと思う。今回の噴霧器のように少し新しい作業をさせてもらえると本人たちにも良い刺激になるように思う。これからは継続的に参加させていただけるとありがたい。(30代女性/施設職員)
- ・通所先とは違う社会の中でのルールを知る、知らない人とのコミュニケーションを取ることを学べたと思う。(50代男性/施設職員)
- ・他者との交流を通じて社会性を身につけることができる。(50代男性/施設職員)
- ・様々な人とコミュニケーションを行うことができた。今回(テレビカメラの取材)いつもと違う雰囲気の中で新たな経験ができた。(30代男性/施設職員)
- ・使用した椅子をしまうことや身だしなみ、一定のペースでお仕事をしていただくことの大切さを学ぶことができる。清掃や事務仕事経験等、色々トライできる。(40代女性/施設職員)
- ・身だしなみひとつとっても日頃見過ごしている支援があると気づいた。今回、初めての作業となったが、参加者の方々にとっては良い経験となった。施設に戻ってからも達成感を味わっていた。参加者は認められたことが嬉しかったとコメントをいただいた。(30代女性/施設職員)



1月5日

川崎ブレイブサンダース就労体験

Bリーグ男子バスケットボールチーム「川崎ブレイブサンダース」のホームゲームにて、1月5日バスケットボールファンをもてなす「就労体験」を実施。今回は同市内精神・知的障害者、引きこもり、ホームレスの方々、述べ10人（利用者：7人、施設職員：3人）が参加し、競技場内にて、試合会場の撤去作業などのお仕事を担って頂いた。

実施日：2022年1月5日(水)

会場：川崎市とどろきアリーナ

参加人数：10人（利用者：7人、施設職員：3人）

参加者属性：知的・発達・精神・身体障害者、引きこもりの方

ボランティアスタッフの人数：2人

支給物：交通費（1,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社DeNA（川崎ブレイブサンダース）

運営団体：川崎市、NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：3事業所

（川崎市ひきこもり地域支援センター就労支援担当、
社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団 川崎市ふじみ園、
社会福祉法人ともかわさき・地域相談支援センタードルチェ）

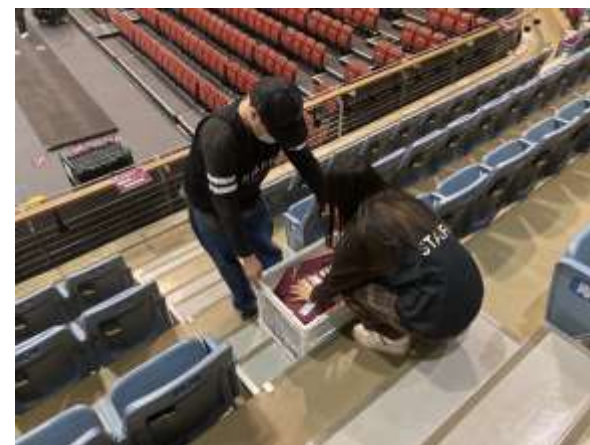
会場来場者数：0人（試合開催中止のため来場者なし）

参加者感想

アンケート回収中

ボランティア感想

- ・障害者の方と話す時はいつも気を遣ってお話をしていたが、どんな方が相手でも自分も自然体で話すことが相手の方の緊張もほぐし円滑な会話に繋がるのだと気づき、接し方の考えが変わった。（10代/学生の方）
- ・普段あまり関わらない方との交流で、今まで自分が抱いていた偏見や、狭い世界で生きていたことに気がついた。地域引きこもりセンターの方々との交流で"引きこもり"の方のイメージが変わった。皆さん優しい方ばかりだった。（10代/学生の方）



中止となったプログラム数 : 33件

| | 日時 | イベント | 場所 | 中止理由 |
|----|------------------------------|---------------------|--------------|--|
| 1 | 2021/4/3(土) 13:30-19:00 | Jリーグ 川崎フロンターレ対磐城 | 等々力陸上競技場 | 最小観覧人数に満たないため |
| 2 | 2021/4/11(日) 10:00-12:30 | Jリーグ 川崎フロンターレ対磐城 | 等々力陸上競技場 | 最小観覧人数に満たないため |
| 3 | 2021/4/17(土) 10:00-12:30 | Bリーグ 川崎ブレイブサンダース対磐城 | とどろきアリーナ | 最小観覧人数に満たないため |
| 4 | 2021/4/18(日) 10:00-12:30 | Bリーグ 川崎ブレイブサンダース対磐城 | とどろきアリーナ | 最小観覧人数に満たないため |
| 5 | 2021/4/18(日) 08:30-11:00 | Jリーグ 川崎フロンターレ対磐城 | 等々力陸上競技場 | 最小観覧人数に満たないため |
| 6 | 2021/5/2(日) 10:00-12:30 | Bリーグ 川崎ブレイブサンダース対磐城 | とどろきアリーナ | 最小観覧人数に満たないため |
| 7 | 2021/6/29(火) 10:00-12:30 | オリンピック聖火リレー対磐城 | 等々力陸上競技場 | 新型コロナウイルス感染拡大の影響によるイベント中止のため |
| 8 | 2021/6/29(火) 14:00-16:30 | オリンピック聖火リレー対磐城 | 等々力陸上競技場 | 新型コロナウイルス感染拡大の影響によるイベント中止のため |
| 9 | 2021/6/30(水) 11:30-14:00 | オリンピック聖火リレー対磐城 | 等々力陸上競技場 | 新型コロナウイルス感染拡大の影響によるイベント中止のため |
| 10 | 2021/7/31(土) 15:00-17:30 | Jリーグ 川崎フロンターレ対磐城 | 富士通スタジアム川崎 | 新型コロナウイルス感染拡大の影響によるイベント中止のため |
| 11 | 2021/8/1(日) 10:00-12:30 | Jリーグ 川崎フロンターレ対磐城 | 富士通スタジアム川崎 | 新型コロナウイルス感染拡大の影響によるイベント中止のため |
| 12 | 2021/8/22(日) 実施時間未定 | かわバラ2021観覧体験 | ラゾーナ川崎 | 新型コロナウイルス感染拡大の影響によるイベント中止のため |
| 13 | 2021/9/5(日) 12:30-15:00 | Jリーグ 川崎フロンターレ対磐城 | 等々力陸上競技場 | 緊急事態宣言発令のため |
| 14 | 2021/9/26(日) 11:30-14:00 | Jリーグ 川崎フロンターレ対磐城 | 等々力陸上競技場 | 緊急事態宣言発令のため |
| 15 | 2021/9/29(水) 13:30-16:00 | Jリーグ 川崎フロンターレ対磐城 | 等々力陸上競技場 | 緊急事態宣言発令のため |
| 16 | 2021/10/2(土) 10:00-13:00 | Bリーグ 川崎ブレイブサンダース対磐城 | とどろきアリーナ | 最小観覧人数に満たないため |
| 17 | 2021/10/3(日) 10:00-13:00 | Bリーグ 川崎ブレイブサンダース対磐城 | とどろきアリーナ | 最小観覧人数に満たないため |
| 18 | 2021/12/29(水) 10:00-13:00 | Bリーグ 川崎ブレイブサンダース対磐城 | とどろきアリーナ | 最小観覧人数に満たないため |
| 19 | 2022/1/2(日) 10:00-13:00 | Bリーグ 川崎ブレイブサンダース対磐城 | とどろきアリーナ | 最小観覧人数に満たないため |
| 20 | 2022/1/3(月) 10:00-13:00 | Bリーグ 川崎ブレイブサンダース対磐城 | とどろきアリーナ | 最小観覧人数に満たないため |
| 21 | 2022/1/4(火) 10:00-13:00 | Bリーグ 川崎ブレイブサンダース対磐城 | とどろきアリーナ | 最小観覧人数に満たないため |
| 22 | 2022/1/21(金) 10:00-13:00 | Bリーグ 川崎ブレイブサンダース対磐城 | とどろきアリーナ | 選手の新型コロナウイルス陽性判明による試合中止のため |
| 23 | 2022/1/22(土) 10:00-13:00 | Bリーグ 川崎ブレイブサンダース対磐城 | とどろきアリーナ | 選手の新型コロナウイルス陽性判明による試合中止のため |
| 24 | 2022/1/23(日) 12:30-14:30 | 身体で聴こう音楽会対磐城 | 川崎市総合自治会館ホール | 新型コロナウイルス感染拡大の影響によるイベント中止のため |
| 25 | 2022/1/26(水) 10:00-13:00 | Bリーグ 川崎ブレイブサンダース対磐城 | とどろきアリーナ | 新型コロナウイルス感染拡大の影響のため川崎市と協議し、3月20日までの観覧体験中止を判断 |
| 26 | 2022/2/5(土) 09:45-12:25 | Bリーグ 川崎ブレイブサンダース対磐城 | とどろきアリーナ | 新型コロナウイルス感染拡大の影響のため川崎市と協議し、3月20日までの観覧体験中止を判断 |
| 27 | 2022/2/6(日) 09:45-12:25 | Bリーグ 川崎ブレイブサンダース対磐城 | とどろきアリーナ | 新型コロナウイルス感染拡大の影響のため川崎市と協議し、3月20日までの観覧体験中止を判断 |
| 28 | 2022/2/18(金) 13:30-16:00 | Jリーグ 川崎フロンターレ対磐城 | 等々力陸上競技場 | 新型コロナウイルス感染拡大の影響のため川崎市と協議し、3月20日までの観覧体験中止を判断 |
| 29 | 2022/3/2(水) 13:30-16:00 | Jリーグ 川崎フロンターレ対磐城 | 等々力陸上競技場 | 新型コロナウイルス感染拡大の影響のため川崎市と協議し、3月20日までの観覧体験中止を判断 |
| 30 | 2022/3/4(金) 10:00-13:00 | Bリーグ 川崎ブレイブサンダース対磐城 | とどろきアリーナ | 新型コロナウイルス感染拡大の影響のため川崎市と協議し、3月20日までの観覧体験中止を判断 |
| 31 | 2022/3/5(土) 10:00-13:00 | Bリーグ 川崎ブレイブサンダース対磐城 | とどろきアリーナ | 新型コロナウイルス感染拡大の影響のため川崎市と協議し、3月20日までの観覧体験中止を判断 |
| 32 | 2022/3/9(水) 10:00-13:00 | Bリーグ 川崎ブレイブサンダース対磐城 | とどろきアリーナ | 新型コロナウイルス感染拡大の影響のため川崎市と協議し、3月20日までの観覧体験中止を判断 |
| 33 | 2022/3/12(土) 10:00-13:00 | Bリーグ 川崎ブレイブサンダース対磐城 | とどろきアリーナ | 新型コロナウイルス感染拡大の影響のため川崎市と協議し、3月20日までの観覧体験中止を判断 |

全国普及に向けた他地域でのプログラム実施報告

令和3年4月10日 – 令和4年1月15日

全国普及に向けた他地域での実施報告

実施期間 : 2021年4月10日～2022年1月15日

(実施対象期間は6月9日から)

参加自治体数 : 9箇所

内訳 東京都渋谷区 東京都品川区 宮城県仙台市
東京都港区 新潟県新潟市 京都府亀岡市
東京都世田谷区 静岡県藤枝市 岩手県陸前高田市

実施企画数 : 42企画 (実施対象企画数は38企画)

就労体験参加人数 : 453名 (実施対象参加人数は336名)

参加事業所数 : 22事業所

内訳 認定特定非営利活動法人よりどりみどり就労継続支援B型事業所みどり工房
渋谷区障害者就労支援センターハートバレーしぶや
特定非営利活動法人工房ラピール
社会福祉法人港福会みなと工房
特定非営利活動法人あおぞら
株式会社NGSソーシャルサポート
社会福祉法人子育てつばら作業所
株式会社富士山ドリームビレッジ
特定非営利活動法人静岡福祉総合支援の会 空と大地と
特定非営利活動法人焼津育成の会 野いちご
社会福祉法人松花苑ワークスおーい
特定非営利活動法人諸星塾とんとん工房
社会福祉法人亀岡福祉会 亀岡市障害者就労支援共同センター
社会福祉法人亀岡福祉会 かめおか作業所
社会福祉法人亀岡福祉会 第三かめおか作業所
株式会社LITALICO 就労移行支援事業所LITALICOワークス仙台みやぎの
株式会社LITALICO 就労移行支援事業所LITALICOワークス仙台東口
株式会社LITALICO 就労移行支援事業所LITALICOワークス仙台青葉
株式会社manaby manaby WORKS
株式会社ミツイ Rickyクルーズ仙台青葉通
株式会社ミツイ Rickyクルーズ長町南
株式会社ミツイ Rickyアカデミー仙台青葉

参加企業・団体数 : 13社

内訳 株式会社藤枝MYFC 社会福祉法人カメラア会
株式会社アルビレックス新潟 渋谷区つばめの里・本町東
株式会社京都パープルサンガ 株式会社AXEREA
文部科学省 NPO法人アクセプションズ
渋谷区 NPO法人みなと障害者福祉事業団
NPO法人スロコミ 日経BP
いま、遠くだからできること NPO法人ビーブルデザイン研究所
実行委員会

| | 日付 | タイトル | 実施地域 | 就労体験者 |
|----------|--------|---------------------|----------|-------|
| 1 | 4月10日 | 藤枝MYFC福祉支援プロジェクト | 静岡県藤枝市 | 35 |
| 2 | 5月1日 | 藤枝MYFC福祉支援プロジェクト | 静岡県藤枝市 | 25 |
| 3 | 5月29日 | 藤枝MYFC福祉支援プロジェクト | 静岡県藤枝市 | 49 |
| 4 | 5月30日 | アルビレックス新潟就労体験 | 新潟県新潟市 | 8 |
| 5 | 6月11日 | クラシックコンサート就労体験 | 宮城県仙台市 | 10 |
| 6 | 6月13日 | 藤枝MYFC福祉支援プロジェクト | 静岡県藤枝市 | 12 |
| 7 | 6月13日 | アルビレックス新潟就労体験 | 新潟県新潟市 | 7 |
| 8 | 6月26日 | 藤枝MYFC福祉支援プロジェクト | 静岡県藤枝市 | 18 |
| 9 | 7月10日 | 藤枝MYFC福祉支援プロジェクト | 静岡県藤枝市 | 39 |
| 10 | 7月11日 | アルビレックス新潟就労体験 | 新潟県新潟市 | 5 |
| 11 | 7月17日 | 京都サンガF.C.就労体験 | 京都府亀岡市 | 4 |
| 12 | 8月21日 | 玉川高島屋スライドリフト体験会就労体験 | 東京都世田谷区 | 1 |
| 13 | 8月22日 | 玉川高島屋スライドリフト体験会就労体験 | 東京都世田谷区 | 1 |
| 14 | 8月22日 | アルビレックス新潟就労体験 | 新潟県新潟市 | 6 |
| 15 | 9月17日 | 超福祉の学校@SHIBUYA就労体験 | 東京都渋谷区 | 1 |
| 16 | 9月18日 | 超福祉の学校@SHIBUYA就労体験 | 東京都渋谷区 | 2 |
| 17 | 9月18日 | 藤枝MYFC福祉支援プロジェクト | 静岡県藤枝市 | 6 |
| 18 | 9月19日 | 超福祉の学校@SHIBUYA就労体験 | 東京都渋谷区 | 3 |
| 19 | 9月19日 | 藤枝MYFC福祉支援プロジェクト | 静岡県藤枝市 | 9 |
| 20 | 9月25日 | アルビレックス新潟就労体験 | 新潟県新潟市 | 9 |
| 21 | 10月9日 | 藤枝MYFC福祉支援プロジェクト | 静岡県藤枝市 | 7 |
| 22 | 10月10日 | 藤枝MYFC福祉支援プロジェクト | 静岡県藤枝市 | 10 |
| 23 | 10月10日 | 京都サンガF.C.就労体験 | 京都府亀岡市 | 5 |
| 24 | 10月16日 | 五反田自費研マルシェ就労体験 | 東京都品川区 | 6 |
| 25 | 10月17日 | 五反田自費研マルシェ就労体験 | 東京都品川区 | 5 |
| 26 | 10月22日 | 藤枝MYFC福祉支援プロジェクト | 静岡県藤枝市 | 7 |
| 27 | 10月23日 | 藤枝MYFC福祉支援プロジェクト | 静岡県藤枝市 | 22 |
| 28 | 10月23日 | アルビレックス新潟就労体験 | 新潟県新潟市 | 5 |
| 29 | 10月24日 | 京都サンガF.C.就労体験 | 京都府亀岡市 | 4 |
| 30 | 10月31日 | 防災・医療討論会就労体験 | 東京都渋谷区 | 2 |
| 31 | 11月3日 | 藤枝MYFC福祉支援プロジェクト | 静岡県藤枝市 | 15 |
| 32 | 11月13日 | アルビレックス新潟就労体験 | 新潟県新潟市 | 5 |
| 33 | 11月14日 | 藤枝MYFC福祉支援プロジェクト | 静岡県藤枝市 | 12 |
| 34 | 11月19日 | 藤枝MYFC福祉支援プロジェクト | 静岡県藤枝市 | 7 |
| 35 | 11月20日 | 藤枝MYFC福祉支援プロジェクト | 静岡県藤枝市 | 30 |
| 36 | 11月21日 | 親子ふれあいひろば販売会就労体験 | 東京都港区 | 7 |
| 37 | 12月4日 | 藤枝MYFC福祉支援プロジェクト | 静岡県藤枝市 | 20 |
| 38 | 12月5日 | 藤枝MYFC福祉支援プロジェクト | 静岡県藤枝市 | 12 |
| 39 | 12月5日 | 京都サンガF.C.就労体験 | 京都府亀岡市 | 5 |
| 40 | 12月5日 | アルビレックス新潟就労体験 | 新潟県新潟市 | 5 |
| 41 | 12月25日 | クリスマスコンサート2021就労体験 | 宮城県仙台市 | 10 |
| 42 | 1月15日 | 共生社会コンパレンス就労体験 | 岩手県陸前高田市 | 2 |
| 他地域 参加人数 | | | | 453 |

全国普及に向けた他地域でのプログラム実施報告 @静岡県藤枝市

令和3年4月10日 – 令和3年12月5日

4月10日 藤枝MYFC福祉支援プロジェクト

Jリーグ藤枝MYFC様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。藤枝MYFCの藤枝総合運動公園サッカー場でのホームゲームにて、4月10日に実施。市内の知的・精神・身体障害の方々35人参加した。開場前に場内のメインスタンド固定座席ならびに手すり、通路の清掃および消毒作業を行った。

実施日：2021年4月10日(土)
会場：藤枝総合運動公園サッカー場
参加人数：35人
参加者属性：知的・精神・身体障害者

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社藤枝MYFC
運営団体：株式会社藤枝MYFC
参加事業所：5事業所

会場来場者数：1,753人

参加者感想

- ・久しぶりの屋外作業だったのでよかった。(60代/身体・精神障害者)
- ・休み以外に働くのはやっぱり疲れるけど行ってきた達成感はあった。(40代/精神障害者)
- ・サッカー選手が好きだから参加した。サッカー選手を見ることができてとても嬉しかった。睡眠時間に気をつけるようになった。(20代/知的・精神障害者)
- ・言葉遣いを学んだ。お金の使い方を考えるようになった。(20代/知的障害者)
- ・他の事業所さんの挨拶などが素晴らしかったので見習いたい。忘れないようにメモをとるようになった。また就労体験があれば参加したい。(40代/知的障害者)
- ・自分の力が少しでも役に立てると思ったから参加した。お客さんが座る席を消毒したと思うと嬉しかった。(20代/発達障害者)
- ・周囲を気にして作業することを学んだ。(40代/知的・精神障害者)
- ・働くことの厳しさや楽しさ、やりがいなどを学び、また各個人一人ひとりが勤労観や職業観をはぐくむことができたと感じた。(20代女性/施設職員)
- ・プロサッカー試合という特別な場所の清掃活動に参加することで、多くの方々と触れ合う経験ができたと思い参加した。大会関係者やお客様、他の事業所の方との交流を通してあいさつの大切さを実感できたのではと思った。(30代女性/施設職員)
- ・利用者の皆さんが自分たちの仕事が社会に貢献していることを実感できた。普段行っている作業と異なり、成果がはっきり見える、イメージできることで働くことにやりがいを感じていただけたのではないかと考える。お客様に喜んでいただけることはとてもいい機会であった。事業所に通う皆さんの活動を多くの人たちに知っていただくことができた(ご家族も活動を知る機会となった)。(40代女性/施設職員)



5月1日、5月29日 藤枝MYFC福祉支援プロジェクト

Jリーグ藤枝MYFC様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。藤枝MYFCの藤枝総合運動公園サッカー場でのホームゲームにて、5月1日、5月29日に実施。市内の知的・精神・身体障害の方々74人参加した。開場前に場内のメインスタンド固定座席ならびに手すり、通路の清掃および消毒作業を行った。

実施日：2021年5月1日(土)、29日(土)

会場：藤枝総合運動公園サッカー場

参加人数：74人 (5/1 25人、5/29 49人)

参加者属性：知的・精神・身体障害者

< 関連団体 >

業務依頼企業：株式会社藤枝MYFC

運営団体：株式会社藤枝MYFC

参加事業所：8事業所

会場来場者数：2,263人 (5/1 1,044人、5/29 1,219人)

参加者感想

- ・歩くのが楽しくなった。試合嬉しかった。(40代/知的障害者)
- ・色々体験ができてよかった。あいさつができた。サッカーの応援をしたかったから嬉しかった。また体験したい。(30代/知的障害者)
- ・自分にとって挑戦しようと思ったので参加した。一つ一つ丁寧にできた。掃除、あいさつが他にもできるようになった。頑張れてよかった。(30代/知的障害者)
- ・掃除の仕事をやってみたかったので参加した。掃除を学べた。午後の試合を楽しみにしながらやっていたから楽しくできた。サッカーがあったら観に行きたい。(40代/知的障害者)
- ・また行ってみたい。(20代/知的障害者)
- ・就労体験は新鮮に感じる。(50代/精神障害者)
- ・皆で協力できた。(50代/精神障害者)
- ・作業の効率いい進め方が勉強になった。(30代/精神障害者)
- ・自分でもできることがあるとわかった。仕事をする中で応援できることが嬉しい。(30代/身体障害者)
- ・重労働になる中で自分のペースをキープしながら進められた。(50代男性/施設職員)
- ・施設外の作業を体験してもらったため参加した。慣れている場所ではなかったので、良い意味で一人ひとり緊張感を持って作業に取り組んでいたのではないと思う。(40代女性/施設職員)
- ・外部との触れ合いや他の施設の方との協力ができればと思い参加した。得意不得意が個々に大きく出て、日々の支援で実践、体験を取り組めるようにしていくことを感じた。(30代女性/施設職員)



6月13日、26日 藤枝MYFC福祉支援プロジェクト

Jリーグ藤枝MYFC様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。藤枝MYFCの藤枝総合運動公園サッカー場でのホームゲームにて、6月13日、26日に実施。市内の知的・精神障害の方々30人が参加した。開場前に場内のメインスタンド固定座席ならびに手すり、通路の清掃および消毒作業を行った。

実施日：2021年6月13日(日)、26日(土)
会場：藤枝総合運動公園サッカー場
参加人数：30人 (6/13 12人、6/26 18人)
参加者属性：知的・精神障害者

< 関連団体 >

業務依頼企業：株式会社藤枝MYFC
 運営団体：株式会社藤枝MYFC
 参加事業所：3事業所

会場来場者数：2,700人 (6/13 1,455人、6/26 1,245人)

参加者感想

- ・試合をするまでは選手、サポーター以外にもたくさんの方が裏で働いて（作業）いると思った。色々な仕事があるということを知ることができた。夏の作業は暑くて大変だけど、裏側を知れてよかったと思う。また参加したい。時々、作業後に試合を観れることも楽しみにつながっている。（40代/精神障害者）
- ・皆さんと一緒に清掃（座席拭き）できて、お客様の役に立ってよかった。社会に貢献して喜んでいただけ有難いと思った。（60代/精神障害者）
- ・スタッフの指示に従って動くことに気がついた。みんなとコミュニケーションを取れた。地域に溶け込むことができればいいと思った。（60代/精神障害者）
- ・サッカー選手を見て嬉しかった。色々な仕事があると思った。（20代/知的障害者）
- ・掃除のやり方が勉強になった。サッカー選手をたくさん見れた。（20代/知的障害者）
- ・お金を使うことの楽しさ、仕事とお金の結びつきを学ぶ機会になる。経験は財産だと考えているので、素晴らしい機会だと思う。また、日常では見ることのできない景色を見ることができたので満足度が高かった。（40代/施設職員）
- ・利用者さんと地域の方との関りが増える機会となった。利用者さん自身も地域へ参加することを学べたと感じた。（20代女性/施設職員）
- ・新しい作業を行うことで就労の意欲につながった。プロスポーツの仕事に関わることで、興味を持ったり、応援したり、利用者さんの余暇の充実につながった。障がい者の社会参加の活動を報道やお客さんに発信できた。（30代男性/施設職員）



7月10日 藤枝MYFC福祉支援プロジェクト

Jリーグ藤枝MYFC様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。藤枝MYFCの藤枝総合運動公園サッカー場でのホームゲームにて、7月10日に実施。市内の知的・精神障害の方々が39人参加した。開場前に場内のメインスタンド固定座席ならびに手すり、通路の清掃および消毒作業を行った。

実施日：2021年7月10日(土)

会場：藤枝総合運動公園サッカー場

参加人数：39人（うち児童就労体験を含む）

参加者属性：知的・精神障害者

< 関連団体 >

業務依頼企業：株式会社藤枝MYFC

運営団体：株式会社藤枝MYFC

参加事業所：3事業所

会場来場者数：1,588人

参加者感想

- ・知らない人に挨拶をすることを学んだ。楽しかった。（10代／知的障害者）
- ・外出する機会ができて嬉しかった。返事をするを意識するようになった。欲しいものが買えた。（40代／知的障害者）
- ・色々な仕事があるとわかった。（40代／精神障害者）
- ・他の仕事も気になった。応援楽しい。（20代／知的障害者）
- ・人の役に立つと気が付いた。（20代／知的障害者）
- ・職員の指示に従う。人の邪魔にならないように集まる。態度や姿勢に気をつける。自分自身をもっとコミュニケーションを取れるように努力しつつ、人に話しかけるようにしたい（苦手分野を少し克服する）わからないところは教える。暑い中での作業をやっているツライときもありつつ丁寧に慌てずやれてよかった。（20代／知的障害者）
- ・みんなと一緒に手際よくできた。（30代／知的障害者）
- ・楽しい気持ちが生まれた。もっと頑張りたい気持ちが生まれた。（20代／知的障害者）
- ・楽しかった。作業のやり方を学べた。天気を気にするようになった。（20代／知的障害者）
- ・作業に対する喜び、意欲につながった。大きな会場で作業を行うことで、より達成感が高まっているように感じた。（30代女性／施設職員）
- ・通常通り取り組んでいる施設外就労とは労働環境や作業内容が異なり、利用者の新たな面が見られる可能性があると感じた。普段体験できない環境と作業を通し、利用者の視野が広がったように思う。見知らぬ多くの人たちの中で作業することにより「見られている」という意識が高まり、作業に対する姿勢に変化が表れたと感じる。（50代男性／施設職員）



9月18日、19日 藤枝MYFC福祉支援プロジェクト

Jリーグ藤枝MYFC様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。藤枝MYFCの藤枝総合運動公園サッカー場でのホームゲームにて、9月18日、19日に実施。市内の知的・精神障害の方々15人が参加した。開場前に場内のメインスタンド固定座席ならびに手すり、通路の清掃および消毒作業を行った。試合前日にはゴール裏及びバックスタンド看板、バックスタンドバナー固定用の水重りの設置作業を行った。

実施日：2021年9月18日(土)、19日(日)

会場：藤枝総合運動公園サッカー場

参加人数：15人 (9/18 6人、9/19 9人)

参加者属性：知的・精神障害者

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社藤枝MYFC

運営団体：株式会社藤枝MYFC

参加事業所：2事業所

(株式会社富士山ドリームビレッジ、

特定非営利活動法人焼津育成の会 野いちご)

会場来場者数：875人 (9/18 前日準備のため観客なし、9/19 875人)

参加者感想

アンケート回答なし



10月9日、10日、22日、23日 藤枝MYFC福祉支援プロジェクト

Jリーグ藤枝MYFC様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。藤枝MYFCの藤枝総合運動公園サッカー場でのホームゲームにて、10月9日、10月10日、10月22日、10月23日に実施。市内の知的・精神障害の方々が46人参加した。開場前に場内のメインスタンド固定座席ならびに手すり、通路の清掃および消毒作業を行った。試合前日にはゴール裏及びバックスタンド看板、バックスタンドバナー固定用の水重りの設置作業を行った。

実施日：2021年10月9日(土)、10日(日)、22日(金)、23日(土)

会場：藤枝総合運動公園サッカー場

参加人数：46人（うち児童就労体験5人を含む）

（10/9 7人、10/10 10人、10/22 7人、10/23 22人）

参加者属性：知的・精神障害者

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社藤枝MYFC

運営団体：株式会社藤枝MYFC

参加事業所：5事業所

会場来場者数：2,464人

（10/9、10/22 前日準備のため観客なし、10/10 1,622人、10/23 842人）

参加者感想

アンケート回答なし



11月13日、14日、19日、20日 藤枝MYFC福祉支援プロジェクト

Jリーグ藤枝MYFC様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。藤枝MYFCの藤枝総合運動公園サッカー場でのホームゲームにて、11月13日、14日、19日、20日に実施。市内の知的・精神障害の方々が64人参加した。開場前に場内のメインスタンド固定座席ならびに手すり、通路の清掃および消毒作業を行った。試合前日にはゴール裏及びバックスタンド看板、バックスタンドバナー固定用の水重りの設置、スタジアム外周およびバックスタンドの応援のぼり設置作業を行った。

実施日：2021年11月13日(土)、14日(日)、19日(金)、20日(土)

会場：藤枝総合運動公園サッカー場

参加人数：64人

(11/13 15人、11/14 12人、11/19 7人、11/20 30人)

参加者属性：知的・精神障害者

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社藤枝MYFC

運営団体：株式会社藤枝MYFC

参加事業所：7事業所

会場来場者数：2,883人

(11/13、11/19 前日準備のため観客なし、11/14 1,561人、11/20 1,322人)

参加者感想

アンケート回答なし



12月4日、5日 藤枝MYFC福祉支援プロジェクト

Jリーグ藤枝MYFC様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。藤枝MYFCの藤枝総合運動公園サッカー場でのホームゲームにて、12月4日、5日に実施。市内の知的・精神障害の方が32人参加した。開場前に場内のメインスタンド固定座席ならびに手すり、通路の清掃および消毒作業を行った。試合前日にはゴール裏及びバックスタンド看板、バックスタンドバナー固定用の水重りの設置、スタジアム外周およびバックスタンドの応援のぼり設置作業を行った。

実施日：2021年12月4日(土)、5日(日)
会場：藤枝総合運動公園サッカー場
参加人数：32人(12/4 20人、12/5 12人)
参加者属性：知的・精神障害者

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社藤枝MYFC
運営団体：株式会社藤枝MYFC
参加事業所：3事業所

会場来場者数：2,323人(12/4 前日準備のため観客なし、12/5 2,323人)

参加者感想

アンケート回答なし



全国普及に向けた他地域でのプログラム実施報告 @新潟県新潟市

令和3年4月17日 – 令和3年12月5日

4月17日

アルビレックス新潟就労体験（見学）

参加人数：6人(コアメンバー6人)

参加団体：IHD、ソシアル、あおぞら、社協

切り出した仕事内容

- ①Eゲート前広場に設置する飲食テーブルの消毒
- ②スタジアム内のトイレのペーパータオルの補充及びゴミの処理、消毒液補充

- + α で切り出せる仕事がないかアルビレックス側で検討

タイムスケジュール

- 10:00 現地集合(検温及び行動確認書の提出)
→オリエンテーション、広報用写真の作成
- 10:15 作業開始
→Eゲート前広場の飲食テーブルの消毒作業(参加者をチーム分け)
- 12:30 スタジアム内へ移動
→トイレのペーパータオルの補充及びゴミの処理、消毒液補充(ブロック制)
- 14:00 キックオフ、試合観戦
→ハーフタイム中にトイレの巡回
- 15:50 試合終了、解散

- 外作業がない場合に集合時間を遅らせる判断・連絡は8:00~9:00までが目安か



5月30日 アルビレックス新潟就労体験

Jリーグアルビレックス新潟様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。アルビレックス新潟のビッグスワンでのホームゲームにて、5月30日に実施。市内の知的・精神障害の方々11人(利用者8人、施設職員3人)参加した。開場前にEゲート前広場でのゴミ回収(巡回)とテーブル・イスの消毒作業を行い、開場後から、スタジアム内のトイレ内に設置しているペーパータオル、消毒液の補充とゴミ回収を行った。

実施日：2021年5月30日(日)

会場：デンカビッグスワンスタジアム

参加人数：17人(利用者：8人、施設職員3人、スタッフ6人)

参加者属性：知的・精神障害者

支給物：交通費(2,000円/人)

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社アルビレックス新潟

運営団体：新潟市社会福祉協議会、一般社団法人 I have a dream

参加事業所：2事業所

(特定非営利活動法人あおぞら、株式会社NGSソーシャルサポート)

会場来場者数：14,759人

参加者感想

- ・ゴミを分別して捨ててくれる人が多く、良いことだと思い、自分でもゴミをちゃんと捨てるよう心掛けたい。(40代男性/精神障害)
- ・こういう仕事をしてみたかった。他にもできそうな仕事が見つかり、自分で考えた内容をスタッフの方に提案した。(50代男性/手帳なしの方)
- ・アルビレックスが好きだから参加した。機会があればまた参加したい。(50代男性/手帳なしの方)
- ・お客さんに感謝されるのでとても勉強になった。これからも人の為になることをしていきたい。(20代男性/知的障害)
- ・病気もあり、他人を怖いと思って過ごしてきたが、ファンの皆様が優しく、生活していく上での安心材料になった。(20代/精神障害)
- ・普段接していないスタッフさんとのやりとりが楽しそうだったし、職員には見せない姿も見られた。(40代女性/施設職員)



6月13日 アルビレックス新潟就労体験

Jリーグアルビレックス新潟様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。アルビレックス新潟のビックスワンでのホームゲームにて、6月13日に実施。市内の知的・精神障害の方々10人(利用者7人、施設職員3人)参加した。開場前にEゲート前広場でのゴミ回収(巡回)とテーブル・イスの消毒作業を行い、開場後から、スタジアム内のトイレ内に設置しているペーパータオル、消毒液の補充とゴミ回収を行った。

実施日：2021年6月13日(日)

会場：デンカビッグスワンスタジアム

参加人数：14人(利用者：7人、施設職員3人、スタッフ4人)

参加者属性：知的・精神障害の方

支給物：交通費(2,000円/人)

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社アルビレックス新潟

運営団体：新潟市社会福祉協議会、一般社団法人 I have a dream

参加事業所：2事業所

(特定非営利活動法人あおぞら、株式会社NGSソーシャルサポート)

会場来場者数：12,689人

参加者感想

- ・仕事の上手下手だけではなく、人間関係を築くことの大切さも学んだ。(20代/発達障害)
- ・今後アルビレックスを応援しようという気持ちになった。(30代/身体障害)
- ・前回の就労体験に参加して、とても良い印象を持った。参加二回 目ということもあって、前回よりはリラックスして取り組むことができた。最初は緊張することでも、慣れるものなのだと感じた。(20代/精神障害)
- ・通所が安定しない方も、通常のカリキュラムと異なるこの体験が魅力と感じ、訓練の時より時間が3倍以上長いこの活動にも、楽しく参加できているのが印象的であった。(40代/施設職員)



7月11日 アルビレックス新潟就労体験

Jリーグアルビレックス新潟様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。アルビレックス新潟のビッグスワンでのホームゲームにて、7月11日に実施。市内の知的・精神障害の方々7人(利用者5人、施設職員2人)参加した。開場前にEゲート前広場でのゴミ回収(巡回)とテーブル・イスの消毒作業を行い、開場後から、スタジアム内のトイレ内に設置しているペーパータオル、消毒液の補充とゴミ回収を行った。

実施日：2021年7月11日(日)

会場：デンカビッグスワンスタジアム

参加人数：16人(利用者：5人、施設職員2人、スタッフ7人、見学者2人)

参加者属性：知的・精神障害の方

支給物：交通費(2,000円/人)

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社アルビレックス新潟

運営団体：新潟市社会福祉協議会、一般社団法人 I have a dream

参加事業所：2事業所

(特定非営利活動法人あおぞら、株式会社NGSソーシャルサポート)

会場来場者数：10,188人

参加者感想

- ・雨が降ったことで通常と違う内容や急遽予定変更ということになり、変更対応が苦手な方なので多少不安があったが、対応出来てよかった(良いアセスメントの場になった)。
特に先の見通しが立たない現場であった時に、利用者自身も支援者もどのように環境を整えることで安心するのかを今後も生の現場で探っていきたい。(40代女性/施設職員)

見学者助言

- ・参加者が楽しそうに活動している様子が印象的だった。
- ・就労体験の先をどのように描くか?目標をどこに置くのか?を明確にするためにもビジョンづくりが大事。(ピープルデザイン研究所/田中氏、鈴木氏)



8月22日 アルビレックス新潟就労体験

Jリーグアルビレックス新潟様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。アルビレックス新潟のビックスワンでのホームゲームにて、8月22日に実施。市内の知的・精神障害の方々8人(利用者6人、施設職員2人)参加した。今回はコアメンバーの事業所でインターンシップを行っている学生3名も参加した。作業開始時間を前回より早めたため、まずはスタジアム内のスタンド清掃作業を行い、終了後にEゲート前広場の活動からスタジアム内の作業へ変更した。

実施日：2021年8月22日(日)

会場：デンカビッグスワンスタジアム

参加人数：19人(利用者：6人、施設職員2人、体験者3人、体験者3人、スタッフ5人、見学者3人)

参加者属性：知的・精神障害の方

支給物：交通費(2,000円/人)

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社アルビレックス新潟

運営団体：新潟市社会福祉協議会、一般社団法人 I have a dream

参加事業所：2事業所

(特定非営利活動法人あおぞら、株式会社NGSソーシャルサポート)

会場来場者数：8,951人

参加者感想

- ・前回と作業の流れが全然変わっていて、新しいこともあったけど、みんなと手分けしてできてよかったと思う。(20代/知的障害)
- ・初めて参加したけど、楽しく有意義に活動できた。次回があればまた参加したい。(20代/発達障害)
- ・今回2回目だったが、前回と違って新しい体験もできてよかった。(身体障害)

体験者感想

- ・暑い中大変だったけど、みんなと話ししながら活動できて楽しかった。(10代/高校生)
- ・初めは少し緊張したが、みんな快く受け入れてくれてとても楽しい活動でした。(20代/大学生)



9月25日 アルビレックス新潟就労体験

Jリーグアルビレックス新潟様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。アルビレックス新潟のビックスワンでのホームゲームにて、9月25日に実施。市内の知的・精神障害の方々11人(利用者9人、施設職員2人)参加した。今節のホームゲームからデイゲームの時間帯の開催に戻った。天候も良く、まずはEゲート前広場でのゴミの巡回回収と飲食テーブルの消毒作業を行った。その後、スタジアム内に移動し、ハーフタイムに向けてトイレのペーパータオルの補充の作業を行った。

実施日：2021年9月25日(土)

会場：デンカビッグスワンスタジアム

参加人数：16人(利用者：9人、施設職員3人、スタッフ4人)

参加者属性：知的・精神障害の方

支給物：交通費(2,000円/人)

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社アルビレックス新潟

運営団体：新潟市社会福祉協議会、一般社団法人 I have a dream

参加事業所：2事業所

(特定非営利活動法人あおぞら、株式会社NGSソーシャルサポート)

会場来場者数：10,202人

サポーターの声

- ・地域貢献・社会貢献につながっている事業なので素晴らしい。
- ・この活動は、みんなアルビを支えている“フラッグ(旗)”になる。
- ・みんな自分のできることで関わっている姿がいい。
- ・「ありがとう」と感謝を伝えられるところが活動としてよい。
- ・障害があるという印象がなかった。
- ・“ゴミ分別回収中”というボードを掲げて活動しているので、ゴミを出しやすいし、聴覚障害の方にもわかりやすい。
- ・ゴミステーションへの行きづらさ(距離等)を感じていたので、助かる。
- ・応援するサポーター以外の関わり方でサポートしている姿は、私たち応援サポーターにとって新しい関わり方だし、大きなプラスになる。



10月23日 アルビレックス新潟就労体験

Jリーグアルビレックス新潟様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。アルビレックス新潟のビックスワンでのホームゲームにて、10月23日に実施。市内の知的・精神障害の方々6人(利用者5人、施設職員1人)参加した。今回は初めて市内の他事業所からも体験という形で2名(利用者1名、施設職員1名)も参加した。作業開始時は雨が降っていたため、まずはスタジアム内のスタンド清掃作業を行い、終了後にEゲート前広場でのゴミの巡回回収の作業を行った。

実施日：2021年10月23日(土)

会場：デンカビッグスワンスタジアム

参加人数：16人(利用者：9人、施設職員3人、スタッフ4人)

参加者属性：知的・精神障害の方

支給物：交通費(2,000円/人)

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社アルビレックス新潟

運営団体：新潟市社会福祉協議会、一般社団法人 I have a dream

参加事業所：2事業所

(特定非営利活動法人あおぞら、株式会社NGSソーシャルサポート)

会場来場者数：10,202人

参加者感想

- ・他者との対面時の笑顔の大切さ、業務中、周囲に注意を払うことが参加して勉強になった。野外の活動の方が自分らしいられるとも感じた。今回は思ったよりも寒く感じた。次回参加時には動きやすく、かつ、身体を冷やさないような服装等、工夫をしたい。(50代/精神障害)
- ・仕事へのやりがいや休日でも社会とつながることの大切さを実感することができた。(20代/発達障害)

体験者感想

- ・いわゆる「雑談」が苦手でありながらも、同じ作業を通して自然と会話が生まれて、雑談をしている姿を見て、共同で業務をする大切さを学んでもらえた。(40代/施設職員)



11月13日 アルビレックス新潟就労体験

Jリーグアルビレックス新潟様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。アルビレックス新潟のビックスワンでのホームゲームにて、11月13日に実施。市内の知的・精神障害の方々6人(利用者5人、施設職員1人)参加した。1日を通し、天候が不安定で雨が降ったり止んだりしていたため、まずはスタジアム内のWスタンドテーブル席の清掃作業を行い、終了後にWスタンド1層目の水拭き、Eスタンド1層目の水拭きの作業を行った。

実施日：2021年11月13日(土)

会場：デンカビッグスワンスタジアム

参加人数：11人(利用者：5人、施設職員1人、スタッフ5人)

参加者属性：知的・精神障害の方

支給物：交通費(2,000円/人)

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社アルビレックス新潟

運営団体：新潟市社会福祉協議会、一般社団法人 I have a dream

参加事業所：2事業所

(特定非営利活動法人あおぞら、株式会社NGSソーシャルサポート)

会場来場者数：7,837人

参加者感想

- ・これまで見知らぬ人とすれ違う際に、触れてしまったり、道を開けてもらった場合等は、こちらから声を出すことは少なく、一礼するのみであったが、声かけをするようになってきた。(50代/精神障害)
- ・今まで、自分一人が行った作業に高評価をいただくことが多かったが、皆で行った作業について、みんなで一緒に褒められた時の嬉しさは、個人作業で褒められた時よりも倍嬉しかった。(20代/発達障害)

体験者感想

- ・作業系の業務が苦手な利用者の方でしたが、自分の身体の使い方を工夫されながら行っており、良いアセスメントの場となった。(40代/施設職員)



12月5日

アルビレックス新潟就労体験

Jリーグアルビレックス新潟様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。アルビレックス新潟のピックスワンでのホームゲームにて、12月5日に実施。市内の知的・精神障害の方々が6人(利用者5人、施設職員1人)参加した。今回は初めて、NゲートとEゲートでのチラシの配布作業を行った。就労者と施設職員(同行スタッフ含む)がペアとなり、Nゲートで2つのレーン、Eゲートでは3つのレーンを就労体験で担当した。

実施日：2021年12月5日(日)

会場：デンカビッグスワンスタジアム

参加人数：10人(利用者：5人、施設職員1人、スタッフ4人)

参加者属性：知的・精神障害の方

支給物：交通費(2,000円/人)

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社アルビレックス新潟

運営団体：新潟市社会福祉協議会、一般社団法人I have a dream

参加事業所：2事業所

(特定非営利活動法人あおぞら、株式会社NGSソーシャルサポート)

会場来場者数：11,955人

参加者感想

アンケート回収中

体験者感想

アンケート回収中



全国普及に向けた他地域でのプログラム実施報告 @宮城県仙台市

令和3年6月11日 – 令和3年12月25日

6月11日 クラシックコンサート就労体験

宮城野区文化センターパトナホールで開催された「金曜夜の四人の女たち in パトナ」にて、6月11日に、来場者をもてなす「就労体験」を実施。
市内1事業所から知的・精神障害者の方々、述べ23人（利用者：10人、施設職員：3人、スタッフ：10人）が参加し、来場者受付、会場案内、検温対応、プログラムの配布などのお仕事などを担っていただいた。

実施日：2021年6月11日(金)

会場：宮城野区文化センター パトナホール

参加人数：23人（利用者：10人、施設職員：3人、スタッフ：10人）

参加者属性：知的・精神障害者の方々

支給物：交通費（2,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：いま、遠くだからできること実行委員会

運営団体：プラスクロス

参加事業所：4事業所

（株式会社LITALICO 就労移行支援事業所LITALICOワークス仙台みやぎの、
株式会社LITALICO 就労移行支援事業所LITALICOワークス仙台東口、
株式会社LITALICO 就労移行支援事業所LITALICOワークス仙台青葉、
株式会社manaby manaby WORKS）

会場来場者数：約100人

参加者感想

- ・イベントの裏方に当たる業務を体験できてよかった。集団行動の大切さ・大変さ、主体となって引っ張っていくより、サポート役があると気づいた。（30代/精神障害者）
- ・笑顔をつくる、表情を意識することを学んだ。（40代/精神障害者）
- ・障害特性の再認識ができた。お客さんの協力もいただいて、コンサートも聴かせてもらい、実際に働いてお金をもらうことができてとても満足感があった。（20代/精神障害者）
- ・1つのことをみんなで協力してやり遂げるといことや担当者同士でコミュニケーションを図って仕事をすることを学んだ。皆さんとコミュニケーションを取りながらひとつのことをやり終えたことの充実感などが味わえた。（40代/精神障害者）
- ・同じ作業を行う人とのコミュニケーションは大切だと感じた。「〇〇した方が効率的ですよ」と提案を同じ作業チームの人にできたことは得意なことだし、それをできたことで改めて得意なことだと気づいた。（30代/精神障害者）
- ・事業所内では体験できない経験ができた（20代男性/施設職員）
- ・センター外の人間とのコミュニケーションの取り方、声のかけ方を検討されていたり、作業系の業務を担当したことでオフィスワークを希望していた方の職業選択の幅が広がった。（30代男性/施設職員）
- ・今回は自分の個性や障害特性をよく知らない方々と共に働いたので、そのような自分が理解されていない環境でいかに自分の得意な仕事ややりたい仕事を示すか、いかに他者と接するかを実践的に学べる機会になったと感じる。（30代男性/施設職員）



12月25日 MECPクリスマスコンサート就労体験

仙台市市民活動サポートセンターで開催された「MEPC CHRISTMAS CONCERT 2021」にて、12月25日に、来場者をもてなす「就労体験」を実施。市内1事業所から知的・精神障害者の方々、述べ20人（利用者：10人、施設職員：5人、スタッフ：5人）が参加した。

2部制で実施し、会場設営・撤去、消毒作業、来場者受付（現金取り扱いあり）、会場案内、検温対応、プログラムのアッセンブリなどのお仕事などを担っていただいた。

実施日：2021年12月25日(土)

会場：仙台市市民活動サポートセンター市民活動シアター

参加人数：20人（利用者：10人、施設職員：5人、スタッフ：5人）

参加者属性：知的・精神障害者の方々

支給物：交通費（2,000円/人）、コンサートチケット

<関連団体>

業務依頼企業：NPO法人スロコミ

運営団体：NPO法人スロコミ

参加事業所：6事業所、放課後等デイサービス1事業所

（株式会社LITALICO 就労移行支援事業所LITALICOワークス仙台みやぎの、

株式会社LITALICO 就労移行支援事業所LITALICOワークス仙台東口、

株式会社LITALICO 就労移行支援事業所LITALICOワークス仙台青葉、

株式会社manaby manaby WORKS

株式会社ミツイ Rickyクルーズ仙台青葉通

株式会社ミツイ Rickyクルーズ長町南

株式会社ミツイ Rickyアカデミー仙台青葉）

会場来場者数：約100人

参加者感想

アンケート回収中



全国普及に向けた他地域でのプログラム実施報告 @京都府亀岡市

令和3年6月11日 – 令和3年12月25日

7月17日 京都サンガF.C.就労体験

Jリーグの京都サンガF.C.様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。京都府亀岡市をホームタウンとする京都サンガF.C.のサンガスタジアム by KYOCERAでのホームゲームにて、7月17日に実施。市内の障害者の方々が述べ7人（利用者：4人、施設職員：3人）参加した。開場前にスタジアム内座席（VIPテラス席）の拭き掃除、開場後にはビジター入場ゲートでの配布物（チラシ等）の配布を行った。

実施日：2021年7月17日(土)
会場：サンガスタジアム by KYOCERA

参加人数：7人（利用者：4人、施設職員：3人）
参加者属性：知的・精神障害者
支給物：交通費（2,000円/人）

< 関連団体 >

業務依頼企業：株式会社京都パープルサンガ

運営団体：亀岡市

参加事業所：3事業所

（社会福祉法人松花苑ワークスおーい、
特定非営利活動法人諸星塾とんとん工房、
社会福祉法人亀岡福祉会 亀岡市障害者就労支援共同センター）

会場来場者数：7,949人

参加者感想

アンケート回答なし



10月10日、24日 京都サンガF.C.就労体験

Jリーグの京都サンガF.C.様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。京都府亀岡市をホームタウンとする京都サンガF.C.のサンガスタジアム by KYOCERAでのホームゲームにて、10月10日、24日に実施。市内の障害者の方々が述べ15人（利用者：9人、施設職員：6人）参加した。開場前にスタジアム内座席（VIPテラス席）の拭き掃除、来場者への配布物（チラシ等）の準備、開場後にはホーム入場ゲートでの配布物（チラシ等）の配布を行った。

実施日：2021年10月10日(日)、24日(日)

会場：サンガスタジアム by KYOCERA

参加人数：15人（利用者：9人、施設職員：6人）

参加者属性：知的・精神障害者

支給物：交通費（2,000円/人）

< 関連団体 >

業務依頼企業：株式会社京都パープルサンガ

運営団体：亀岡市

参加事業所：5事業所

- （社会福祉法人松花苑ワークスおーい、
- 特定非営利活動法人諸星塾とんとん工房、
- 社会福祉法人亀岡福祉会 亀岡市障害者就労支援共同センター、
- 社会福祉法人亀岡福祉会 かめおか作業所、
- 社会福祉法人亀岡福祉会 第三かめおか作業所）

会場来場者数：12,343人（10/10 5,911人、10/24 6,432人）

参加者感想

アンケート回答なし



12月5日 京都サンガF.C.就労体験

Jリーグの京都サンガF.C.様とのサッカーファンをもてなす「就労体験」を実施。京都府亀岡市をホームタウンとする京都サンガF.C.のサンガスタジアム by KYOCERAでのホームゲームにて、12月5日に実施。市内の障害者の方々が述べ8人（利用者：5人、施設職員：3人）参加した。開場前に来場者への配布物（チラシ等）の準備、開場後にはホーム入場ゲートでの配布物（チラシ等）の配布を行った。

実施日：2021年12月5日(日)
会場：サンガスタジアム by KYOCERA

参加人数：8人（利用者：5人、施設職員：3人）
参加者属性：知的・発達・精神障害者
支給物：交通費（2,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：株式会社京都パープルサンガ
運営団体：亀岡市
参加事業所：3事業所
（社会福祉法人松花苑ワークスおーい、
特定非営利活動法人諸星塾とんとん工房、
社会福祉法人亀岡福祉会 亀岡市障害者就労支援共同センター）

会場来場者数：9,608人

参加者感想

アンケート回答なし



全国普及に向けた他地域でのプログラム実施報告 @東京都世田谷区

令和3年8月21日、22日

8月21日、22日 超福祉体験会 第1回 スライドリフトチャレンジ就労体験

世田谷区玉川高島屋で開催された「超福祉体験会 第1回 スライドリフトチャレンジ」にて、8月21日、22日に、来場者をもてなす「就労体験」を実施。身体障害の方々、述べ2人（利用者：2人）が参加し、イベントにて、会場設営、来場者受付、感染症対応のお仕事などを担って頂いた。

実施日：2021年8月21日(土)、22日(日)

会場：玉川高島屋

参加人数：2人（利用者：2人）

参加者属性：身体障害者の方々

ボランティアスタッフの人数：6人

支給物：交通費（1,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：NPO法人ピープルデザイン研究所、株式会社AXEREA

運営団体：NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：個人参加

会場来場者数：83人（8/21 34人、8/22 49人）

参加者感想

アンケート回答なし



全国普及に向けた他地域でのプログラム実施報告 @東京都渋谷区

令和3年9月17日－10月21日

9月17日、18日、19日 「超福祉の学校@SHIBUYA」就労体験

弊社主催、渋谷区他共催のイベント「超福祉の学校@SHIBUYA」にて来場者をもてなす就労体験を実施。区内の精神・知的障害者、ひきこもりの方々には、配信スタジオとなった渋谷ヒカリエで、開場前に配信スタジオ内の消毒作業を運営スタッフとして担っていただいた。

実施日：2021年9月17日(金)、18日(土)、19日(日)

会場：渋谷ヒカリエ8階 8/COURT・CUBE

参加人数：6人（利用者：6人）

参加者属性：発達・精神障害者、ひきこもりの方

ボランティアスタッフの人数：3人

支給物：交通費（1,000円/人）

<関連団体>

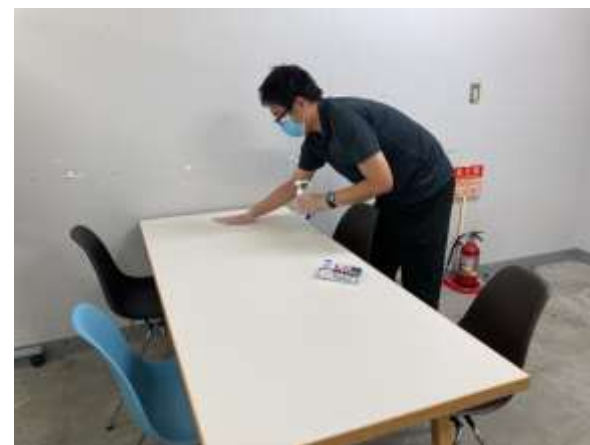
業務依頼・主催：NPO法人ピープルデザイン研究所 / 共催：文部科学省、渋谷区 他
参加事業所：1事業所

（認定特定非営利活動法人よりどりみどり就労継続支援B型事業所みどり工房、個人参加）

参加者数：約9,700人（会場 約100人、視聴者数 9,600人）

参加者感想

- ・少しでも働く経験をしたかったため参加した。普段接触しない人たちと接触することは、貴重で楽しいと思った。普段あまり入れない場所に入れて、普段できないことができて楽しかった。
（20代/発達障害者）
- ・将来就職するための第一歩として参加した。自信がいった。（20代/精神障害者）
- ・去年、超福祉展の就労体験に参加したことを覚えていたから今年も参加した。
（40代/精神障害者）



10月31日 防災・医療討論会就労体験

渋谷区つばめの里・本町東で開催された「防災・医療討論会」にて、10月31日に、来場者をもてなす「就労体験」を実施。
区内1事業所から知的・精神障害者の方々、述べ3人（利用者：2人、施設職員：1人）が参加し、イベントで来場者の方に焼き芋を配布するお仕事などを担っていただいた。

実施日：2021年10月31日(日)

会場：渋谷区つばめの里・本町東

参加人数：3人（利用者：2人、施設職員：1人）

参加者属性：知的・精神障害者の方々

ボランティアスタッフの人数：0人

支給物：交通費（1,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：社会福祉法人カメラア会 渋谷区つばめの里・本町東

運営団体：NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：1事業所

（渋谷区障害者就労支援センターハートバレーしぶや）

会場来場者数：約100人

参加者感想

アンケート回収中



全国普及に向けた他地域でのプログラム実施報告 @東京都品川区

令和3年10月16日、17日

10月16日、17日 五反田自費研マルシェ就労体験

五反田TOCで開催された「自費研フェスティバル2021」のイベント「自費研マルシェ」にて、10月16日、17日に、来場者をもてなす「就労体験」を実施。
今回は渋谷区、新宿区内ダウン症候群の方々、述べ11人（利用者：11人）が参加し、イベントでパンフレットの配布、野菜・コーヒーの販売のお仕事などを担っていただいた。

実施日：2021年10月16日(土)、17日(日)
会場：TOC EXHIBITION HALL（五反田TOCビル）
参加人数：11人（利用者：11人）
参加者属性：発達障害・ダウン症候群の方
ボランティアスタッフの人数：2人
支給物：交通費（1,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：NPO法人アクセプションズ
運営団体：NPO法人ピープルデザイン研究所
参加事業所：個人参加
会場来場者数：4,345人

参加者感想

- ・将来の仕事が少しイメージできた。（10代/知的障害者）
- ・楽しかった。また五反田で働きたい。（20代/身体・知的障害者）
- ・「いらっしゃいませ」と言うのがなかなか恥ずかしかったけど言えた。とても楽しかったのでまた行きたい。一番楽しかったのはコーヒー豆の販売。（10代/知的障害者）
- ・パンフレットの配布の仕事が一番楽しかった。受け取ってくれた人の中には「ありがとう」と言ってくれる人がいて、とても温かい気持ちになった。初めてお金を受け取って、嬉しかった。大事に使いたいと思う。また、お仕事体験したい。（10代/知的障害者）
- ・自分の思い通りにならなくても機嫌を損ねないようなメンタルコントロールスキルを身につける機会となったと思う。今は、働いてほしい！お金をもらって嬉しい！をたくさん経験して、自分の適性を知り、就労へのモチベーション、意欲を育ててほしいので、是非また企画してほしい。（50代女性/保護者の方）
- ・今後の就労に向けて、どのような可能性があるかを考える機会になった。（40代女性/保護者の方）
- ・現在、特別支援学校高校2年生のため、就労に向けて、またコロナ禍もあり、就労体験の機会がとて減ってしまい、なるべく多くの体験をさせたかった。イベントという大勢の不特定多数の場であり、通りがかりの人に声をかけたり、笑顔で挨拶したりする「外」の顔を意識することは少ないので、とてもいい機会と思う。（50代女性/保護者の方）
- ・一度でも働いた経験がある方と、学生で経験がない方の違いがよくわかった。一度でも働いた経験があると、身だしなみ、挨拶、態度などベースができており、多様な経験ができるチャレンジできる時間になり、学生さんは「お金をもらって働くとは？」体験者と親御さんの意識が変わるきっかけの時間になったと思う。対お客さんの仕事の場合、足を組まない、食品を扱う仕事であれば、顔や鼻を触ったら手を洗うアルコール消毒をするなど、通常の生活では、あまり意識しないところに意識を向けていく経験になった。（40代女性/保護者の方）



全国普及に向けた他地域でのプログラム実施報告 @東京都港区

令和3年11月21日

11月21日

港区子ども家庭支援センター

親子ふれあいひろば販売会就労体験

港区子ども家庭支援センター親子ふれあいひろばで開催された親子向けイベントにて、11月21日に、来場者をもてなす「就労体験」を実施。

区内2事業所から知的・精神障害者の方々、述べ9人（利用者：7人、施設職員：2人）が参加し、区内の事業所で作成された製品の品出し、販売のお仕事などを担っていただいた。

実施日：2021年11月21日(日)

会場：港区子ども家庭支援センター親子ふれあいひろば

参加人数：9人（利用者：7人、施設職員：2人）

参加者属性：知的・精神障害者の方々

ボランティアスタッフの人数：0人

支給物：交通費（1,000円/人）

<関連団体>

業務依頼企業：NPO法人みなと障害者福祉事業団

運営団体：NPO法人ピープルデザイン研究所

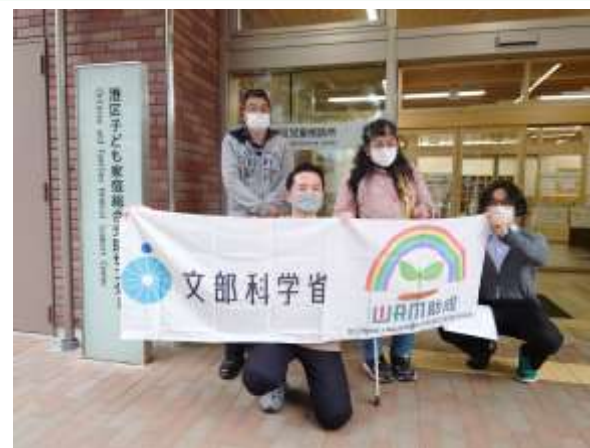
参加事業所：2事業所

（特定非営利活動法人工房ラピール、社会福祉法人港福会みなと工房）

会場来場者数：100人

参加者感想

- ・楽しかった。これからも頑張ろうと思った。（60代/知的障害者）
- ・コロナ禍でバザーとかイベントとかできなかったから、何かあるかなと思い、参加してみようと思った。楽しかったので、また機会があれば参加したい。（60代/精神障害者）
- ・作業所の商品を売りたいかったので参加した。接客態度をしっかりとしようと思った。やさしく仕事を教えてくれたのでよかった。（40代/精神障害者）
- ・中での様子そのままの利用者もいたが、硬い表情の利用者も接客で声が出ている姿が見られた。接客や事業所外での様子が見られるなどアセスメントが取れた。コロナでイベントごとが少ない現状において、楽しめる良い機会だったと思う。（40代男性/施設職員）
- ・初めての場所へのアクセスなど良い体験となったと感じた。また、他の事業所の作品（商品）を理解し販売する機会となった。支援者として、子供支援センターのイベントに参加することができて大変いいと感じた。（60代女性/施設職員）



全国普及に向けた他地域でのプログラム実施報告 @岩手県陸前高田市

令和4年1月15日

1月15日 共に学び、生きる、共生社会コンファレンス 陸前高田市における就労体験

岩手県陸前高田市・市民文化会館で開催された「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」にて、1月15日に、来場者をもてなす「就労体験」を実施。市内1事業所から精神障害者の方々、述べ3人（利用者：2人、施設職員：1人）が参加し、展示品の設営、来場者受付、検温対応、配布資料のアッセンブリ作業などのお仕事などを担っていただいた。

実施日：2022年1月15日(土)

会場：岩手県陸前高田市・市民文化会館

参加人数：3人（利用者：2人、施設職員：1人）

参加者属性：精神障害者の方々

ボランティアスタッフの人数：0人

支給物：昼食

<関連団体>

業務依頼企業：日経BP

運営団体：NPO法人ピープルデザイン研究所

参加事業所：1事業所

（陸前高田市ユニバーサル就労支援センター）

会場来場者数：70人

参加者感想

- ・自分の得意なことや苦手なことを考えるきっかけになった。また、自分自身はわかっている、人に伝えること、言葉にすることの難しさを感じた。（50代女性／精神障害者の方）
- ・体験者が参加してよかったと感じ、また体験したいと思った様子だったのでよかった。不特定多数の人たちと接し、新鮮さがあったと思う。（40代男性／施設職員）

